

今別町

防災 マップ

安全で安心なまちづくり

災害記事

避難所一覧・全体図

洪水・土砂マップ

津波マップ

避難時の準備

町民のみなさまへ

町民の皆様には、日頃から町防災行政に格別なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、近年は大地震、大雨による土砂災害や洪水など大規模災害が国内各所で頻発しています。これらの自然災害はいつ・どこで発生し、どのような形で私たちの生活に影響を及ぼすかわかりません。

今別町においても大雨による被害に見舞われ、町民の皆様が安心・安全に生活できるように、災害に強い町づくりに取り組んでいかなければなりません。

そのためには、防災の基本であります3助について対策を強化し、町民の皆様と協働で防災・減災効果を高めてまいります。

日頃から自分自身や家族で備えることや早めの避難などを行う「自助」、地域で協力して助け合う「共助」、行政や消防等による「公助」の3助が災害発生時に、それぞれが役割を理解し、連携することがとても重要であります。

今回作成しました「今別町防災マップ」は、町内における各種災害に対する警戒区域の他、防災に関する情報を掲載しておりますので、今後の災害対策、地域防災活動等にご活用いただき、町民の皆様と一緒に安心して暮らせるまちづくりに努めてまいります。

令和5年4月

今別町長 阿部 義治



索引

自らの命、家族の命を守るために！	1	全体図	11
風水害対策について	2	今別町防災マップ1～9	12～29
洪水ハザード情報について	3	今別町中心拡大図	30・31
土砂ハザード情報について	4	今別町防災マップ(津波)1～6	32～43
地震対策	5	災害時の感染症対策	44
津波対策	6・7	わが家の「防災・緊急情報」メモ	45
わが家の防災対策&チェック	8	非常時持出品の準備&チェック	
マイ・タイムライン	9	防災情報収集方法・災害用伝言ダイヤル	裏表紙
指定避難所・指定緊急避難場所一覧	10	防災関係機関連絡先・奥付	

自らの命、家族の命を守るために！

適時適切な避難を行うために、家族や地域で確認しましょう。

ステップ ①

自宅や学校・職場には、どのような危険があるのか確認しましょう。

- 防災マップを見て、土砂災害が起こりやすい場所はないか等、自宅や学校・職場等のよく立ち入る場所には、どのような危険があるのか確認しましょう。
- 避難場所（10ページ）を確認し、そこまでの経路や移動手段について計画しておきましょう。



ステップ ②

行政機関から提供される防災情報^{※1}について確認しましょう。

- 発令される避難情報等、国や都道府県から提供される防災気象情報には、以下のものがあります。^{※2}

警戒レベル	避難情報	避難行動	気象等情報	
			洪水浸水区域	土砂災害警戒区域
警戒レベル5	緊急安全確保 ^{※3}	命の危険 直ちに安全確保！ ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！	氾濫発生情報等	大雨特別警報等
警戒レベル4 (危険な場所から 全員避難)	避難指示 ^{※4}	危険な場所から全員避難 ・警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。	氾濫危険情報等	土砂災害警戒情報等
警戒レベル3 (危険な場所から 高齢者等は避難)	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 ・「高齢者等」は障害のある人や避難を支援する者も含んでいます。 ・さらに、高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。	氾濫警戒情報 洪水警報等	大雨警報等
警戒レベル2		避難に備え、防災マップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	氾濫注意情報 洪水注意報等	大雨注意報等
警戒レベル1		災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報	

※1 情報の入手方法については、裏表紙をご確認ください。

※2 必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。

※3 緊急安全確保は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。

※4 避難指示は、地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合などに発令されるものであり、必ず発令されるものではないことに留意してください。

風水害対策について

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
普段から気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

大雨情報をキャッチ！ こんなときのわが家の安全対策

まずは、
確実な情報が大事
その次に迅速な対応



特別警報・警報・注意報の発表基準

現象の種類	発表基準		
	特別警報	警報	注意報
大雨	数十年に一度の大雨が予想され、大災害が起こるおそれ著しく高まっている場合	大雨によって重大な浸水害や土砂災害が起こるおそれがあると予想される場合 記録的短時間大雨情報 1時間に雨量90mm <small>※大雨警報発表時、上記基準に達した場合に発表</small>	大雨によって浸水害や土砂災害が起こるおそれがあると予想される場合
洪水	※全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。	大雨や融雪によって、増水や氾濫により重大な洪水害が発生するおそれがあると予想される場合 <small>※対象となる重大な洪水害として、河川の増水・氾濫及び堤防の損傷・決壊、並びにこれらによる重大な浸水害があげられる。</small>	大雨や融雪によって、増水により洪水害が発生するおそれがあると予想される場合 <small>※対象となる洪水害として、河川の増水及び堤防の損傷、並びにこれらによる浸水害があげられる。</small>

雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
10mm以上~20mm未満	20mm以上~30mm未満	30mm以上~50mm未満	50mm以上~80mm未満	80mm以上~
雨の音で話し声が良く聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づら。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
10m/秒以上~15m/秒未満	15m/秒以上~20m/秒未満	20m/秒以上~30m/秒未満	30m/秒以上~
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けなくなる。転倒する人もいる。	何かにつかまっていなくて立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	屋外での行動は極めて危険。多くの樹木が倒れる。電柱や街頭で倒れるものがある。

台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。
台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/s以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/s以上44m/s未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/s以上54m/s未満
		猛烈な	54m/s以上

局地的大雨と集中豪雨

気象庁の定義によると、「局地的大雨」は単独の積乱雲が急激に発達して降らせる一過性の大雨のことで「ゲリラ豪雨」とも呼ばれることもあります。局地的に数十ミリになります。「集中豪雨」は積乱雲が同じ場所で次々と発達を繰り返し、雨が数時間にわたって降り続く現象です。狭い範囲に数百ミリの雨を降らせます。その中でも、積乱雲が連続して発生し線状に並びその規模が幅20~50km、長さが50~300kmになるものが「線状降水帯」と呼ばれています。停滞性の線状降水帯は、同じ場所で激しい雨が長時間降り続き、まさにその場所にいる人にとっては経験したことのない大雨となり、甚大な被害をもたらすおそれがあります。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

洪水ハザード情報について

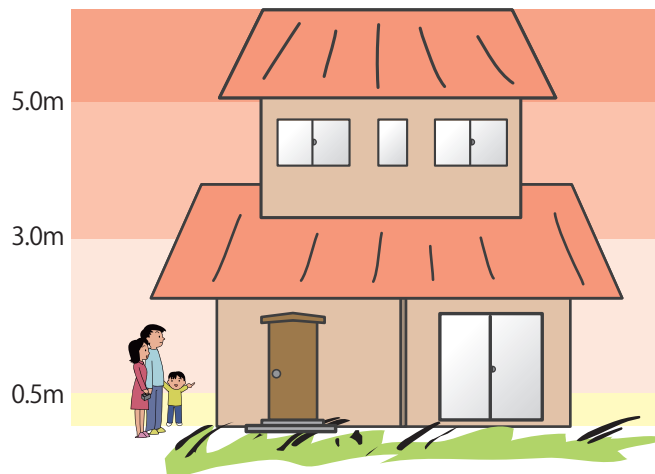
水防法に基づき、洪水ハザード情報をマップに掲載しています。
以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

1 説明

- 「今別町防災マップ」に表示している今別川の浸水想定は、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示したハザード情報です。
- この浸水想定区域などは、指定時点の河道の整備状況を勘案して、氾濫した場合の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- この防災マップをご使用の際は、支川の氾濫、想定を超える降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合がありますので十分注意しましょう。

●浸水ランクの目安 想定した大雨の規模(今別川流域の24時間雨量512mm)

5.0m以上の区域	2階の屋根まで浸水する程度
3.0～5.0m未満の区域	2階が浸水する程度
0.5～3.0m未満の区域	1階が浸水する程度
0.5m未満の区域	大人の膝までつかる程度



2 洪水情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

洪水注意報(気象庁)

- 洪水によって災害が発生するおそれがある場合、その旨を注意して行う。

洪水警報(気象庁)

- 洪水によって重大な災害が発生するおそれがある場合、その旨を警告して行う。

水位周知を行う河川

- 今別川については、避難判断水位、氾濫危険水位が設定されています。これらの水位に達した場合、知事は関係市町村やマスコミを通じてお知らせします。



3 避難時の注意点

①安全で動きやすい服装を

- ・ヘルメットやずきん等で頭を保護する。
 - ・裸足で避難しない。脱げにくい運動靴で避難する。
- ※長靴は水が溜まると動きにくくなるのではない!

②足元に注意

- ・水の深さに注意する。
- ※歩行可能な水深は一般的に男性70cm、女性50cm。水の流が速い場合はさらに注意が必要!
- ・水があふれたときは、マンホールや側溝、石などが危険。杖や長い棒で進行方向を確認しながら歩くようにしましょう。

③隣近所で声を掛けあって避難

- ・単独行動はしない。
- ・はぐれないようロープで互いの体を結んで流されないようにしましょう。

④要配慮者の安全確保

- ・病人や高齢者などは背負って避難する。
- ・子供は大人が手をつないで避難させる。その際、浮き袋を付けるようにしましょう。



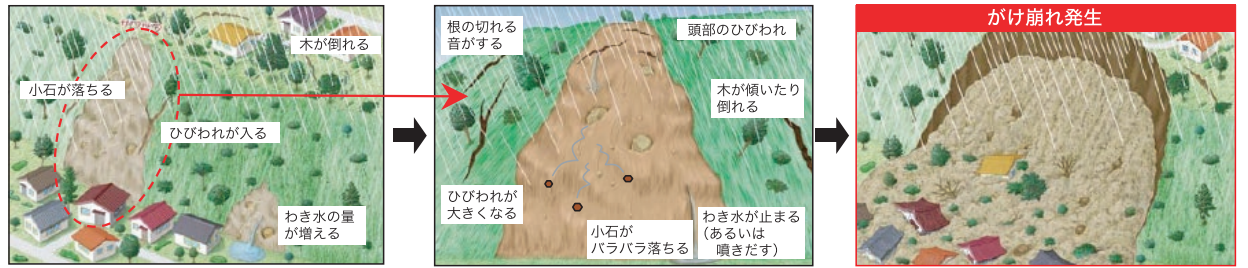
土砂ハザード情報について

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、(町総務企画課 電話0174-35-2001(代))へ連絡するとともに、直ちに周りの人と安全な場所へ避難してください。日ごろから危険箇所・避難場所、避難経路を確認しておくことも重要です。

土砂災害の種類

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



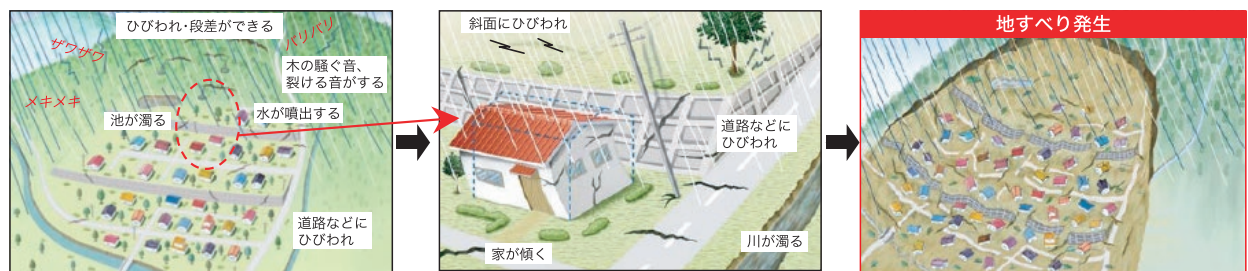
土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

土砂災害警戒情報について

●土砂災害警戒情報とは

大雨による土砂災害発生が高まった時に、町が防災活動や住民等への避難指示等の災害応急対応を適時適切に行えるように支援すること、また住民の自主避難判断に役立てることを目的として、県と青森地方气象台が共同し作成・発表する情報です。

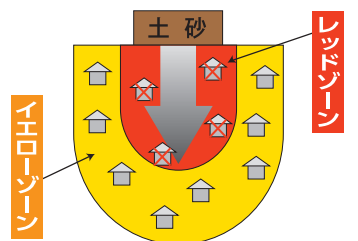
●土砂災害警戒情報の発表

県等が発表する土砂災害警戒情報を受け、町は、気象情報、前兆現象、青森県土砂災害警戒区域等マップや大雨警報(土砂災害)の危険度分布(土砂災害警戒判定メッシュ情報)等も併せて総合的に判断し、住民への避難情報等を提供します。また、住民への情報伝達は、防災行政無線や緊急速報メール(エリアメール)等を活用し、速やかに伝達します。

危険箇所内の重要性の高い箇所について

土砂災害防止法に基づき、青森県が計画的に基礎調査を実施し、危険箇所内の重要性の高い箇所について、「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」の指定が行われています。

土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)	建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域
土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)	土砂災害のおそれがある区域
土砂災害 警戒区域(地滑り)	土砂災害のおそれがある区域



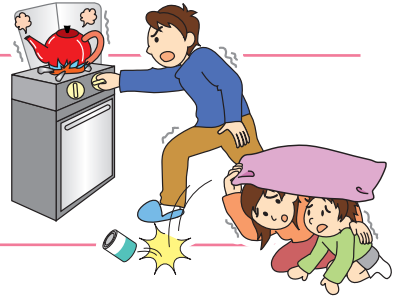
地震対策 地震発生!そんなときどうする

地震発生

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

最初の大きな揺れは約1分間

- まず、身を守る安全確保 (手近な座布団などで頭を保護)
- すぐに火を消せるときは火を消す
- 大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する



1~2分

揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 非常時持出品を準備する



3分

みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

隣近所に
声をかけよう

- 要配慮者の安全確保
- 隣近所で助け合う
- 行方不明者はいないか
- ケガ人はいないか

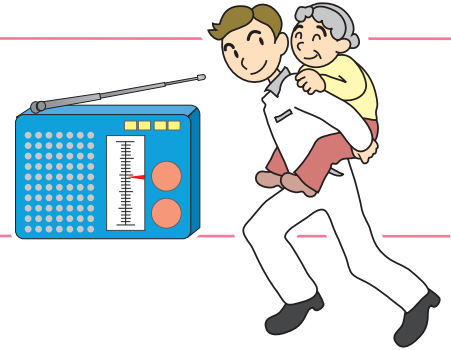
出火防止
初期消火

- 漏電・ガス漏れに注意 電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める
- 消火器を使う ●バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく

5分

ラジオなどで正しい情報を

- 大声で知らせる ●災害・被害情報の収集
- 余震に注意する ●避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する



10分
数時間
3日

協力して消火活動、救出・救護活動を

- 水、食料は蓄えているものでまかなう 3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- 救出・救護活動 ●無理な行動はやめよう
- 助け合いの心が大切 ●壊れた家に入らない

屋内にいた場合

家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

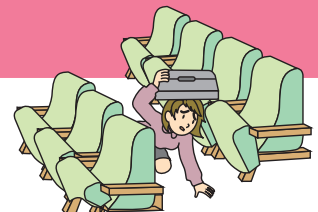
デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウやショーケースなどから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。



集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。



劇場・ホール

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示に従う。あわてずに冷静な行動をとる。

屋内にいた場合

路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をかばんなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などが無いときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に近づかない。

車を運転中

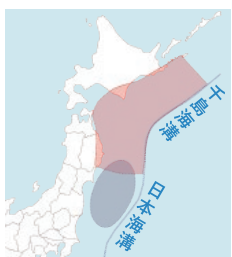
- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。



北海道・三陸沖後発地震注意情報



マグニチュード
M7.0以上の
大地震が起きたら…

続いて発生する
巨大地震の可能性!
情報で備えを

東日本大震災のときは

3月9日 M7.3 続いて発生 3月11日 M9.0

※情報が発信されたとしても、必ず巨大地震が発生するとは限りません。

津波対策(1)



津波から命を守るためには、「強い揺れ、弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じたら」…すぐに避難!! 「揺れが無くても津波警報を見聞きしたら」…すぐに避難!!

津波警報・注意報

津波の発生が予想される場合には、地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。その後「予想される津波の高さ」、「津波の到達予想時刻」等の情報を発表します。

マグニチュード8を超えるような巨大地震の場合

「巨大」という言葉を使った大津波警報で、非常事態であることを伝えます

- 巨大地震の場合は、正しい地震の規模をすぐには把握できないため、その海域における**最大級の津波を想定して**、大津波警報や津波警報を発表します。これにより、津波の高さを低く予想することを防ぎます。
- このとき、最初の津波警報では、予想される津波の高さを、「**巨大**」、「**高い**」という言葉で発表して**非常事態**であることを伝えます。



「巨大」という言葉を見たり聞いたりしたら、東日本大震災クラスの津波が来ると思って、ただちに高い場所に避難しましょう!

正確な地震の規模が分かった場合

予想される津波の高さを、1m、3m、5m、10m、10m超の5段階で発表します



「津波の高さ」は津波がない場合の海面からの高さです。津波が陸上で崖などを駆け上った高さは、津波の高さの何倍にも達することがあります。

津波に関する情報

津波警報の発表後、沖合や沿岸の観測点で観測した津波の高さや到達時刻を発表します。

- 高い津波が来る前は、津波の高さを「観測中」として発表します。
- 沖合で観測された津波の情報をいち早く伝えます。

津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

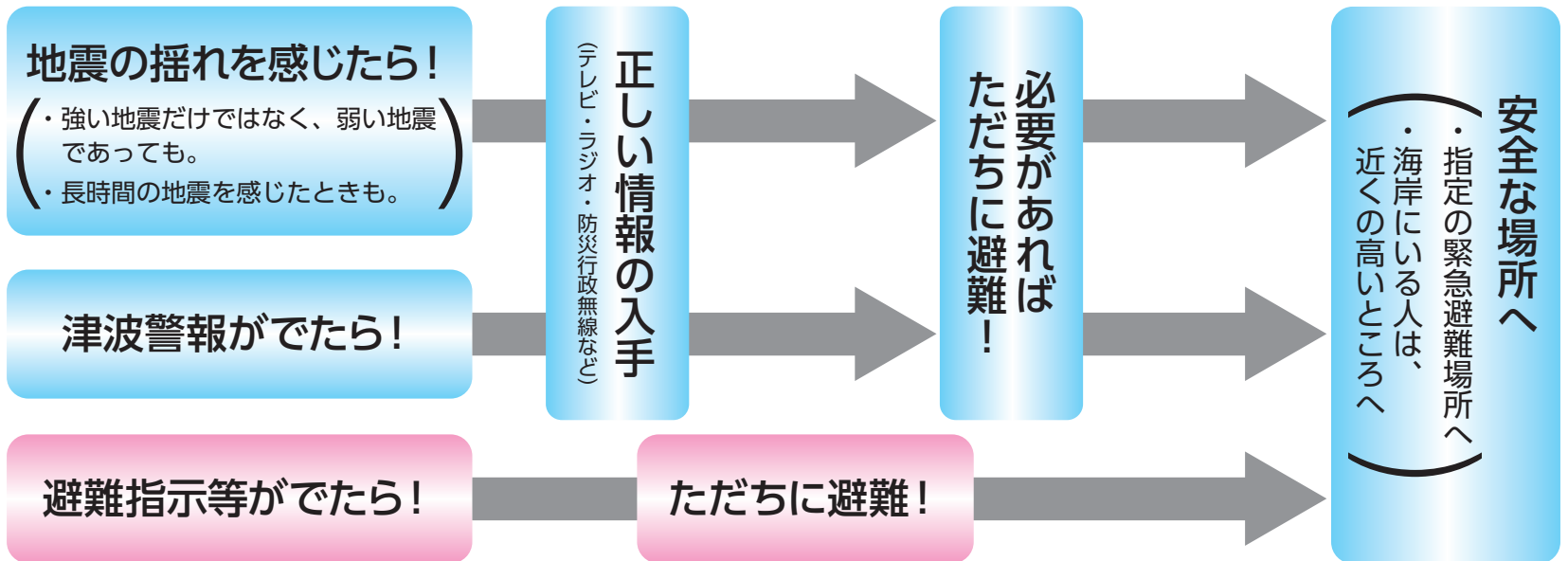
	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難タワーなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう!	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)		海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。

※津波警報等の発表時には、各区分の**高い方の値**を、予想される津波の高さとして発表します。

(※気象庁ホームページより大部分を抜粋)

津波対策(2)

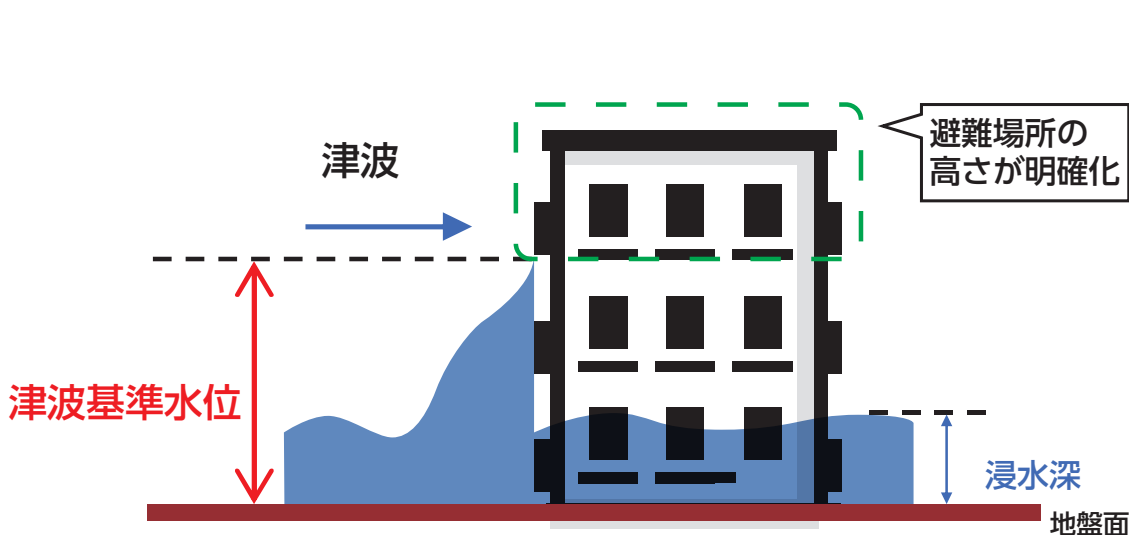
津波からの避難



津波の特性と避難行動のポイント

- ! 水辺からすぐに離れる**
 津波注意報であっても水辺は危険。ただちに海岸や川べりから離れる。
- ! 津波の速度は速い**
 津波の速度は非常に早く、目に見えてから逃げるのでは間に合わない。
- ! 避難したら戻らない**
 到達予想時刻が過ぎたり、第一波が引いたとしても、津波警報・注意報が解除され安全が確認されるまでは避難を継続する。
- ! 津波は何度も来る**
 津波は一度だけでなく複数回襲来し、後から来る津波の方が高くなることもある。
- ! 津波は場所により高くなる**
 津波は沿岸に近づき水深が浅くなるほど、急激に高くなる。また、V字型の湾や岬の先端など、地形の影響で局部的に高くなる。
- ! 津波は遠くからも来る**
 津波は遠方の地震等によって発生することもある。日本近海の地震が伴わない津波警報・注意報にも注意する。

津波基準水位(せり上がり浸水深)について



津波基準水位とは、津波が建物等に衝突した際の津波のせき上げ高さを加えた水位のことです。

津波浸水想定における浸水深と同様に、地盤面からの高さ(水深)で表示されます。

津波基準水位を用いることにより、避難場所等の建物の安全な高さが明確化されます。

本防災マップでは、津波による浸水の深さは津波基準水位にて表しています。国土交通省「水害HM作成の手引き」より抜粋

わが家の防災対策&チェック

災害記事

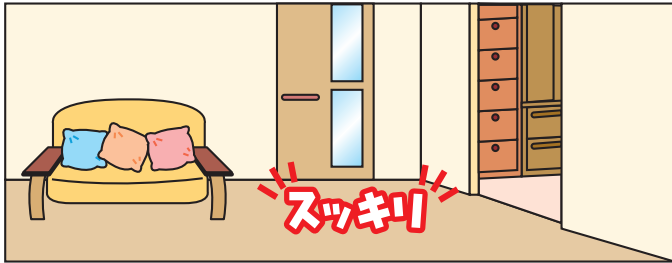
家の中の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

1

家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

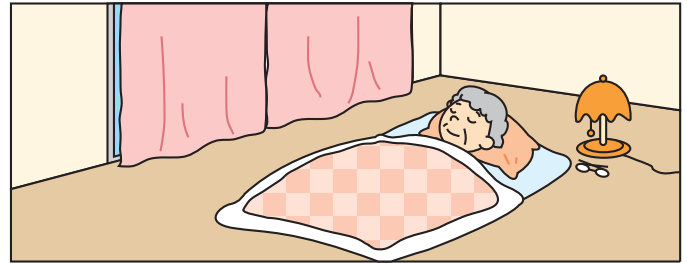
部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。



2

寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる危険性がある。



3

家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



4

安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

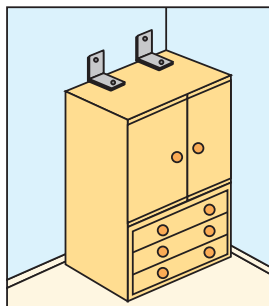
玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



家具の転倒、落下を防ぐポイント

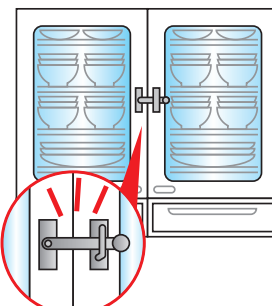
タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



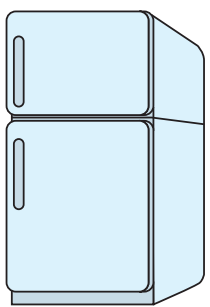
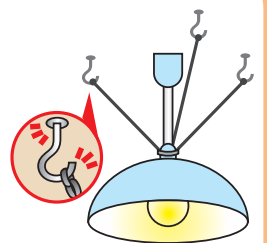
食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



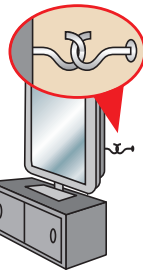
照明

チェーンと金具を使って数箇所止める。



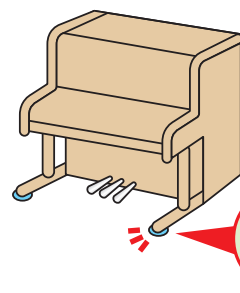
冷蔵庫

転倒防止用ベルトで固定します。



テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上など、高い位置はさげる)。



ピアノ

転倒防止専用金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。

家の周囲の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

屋根

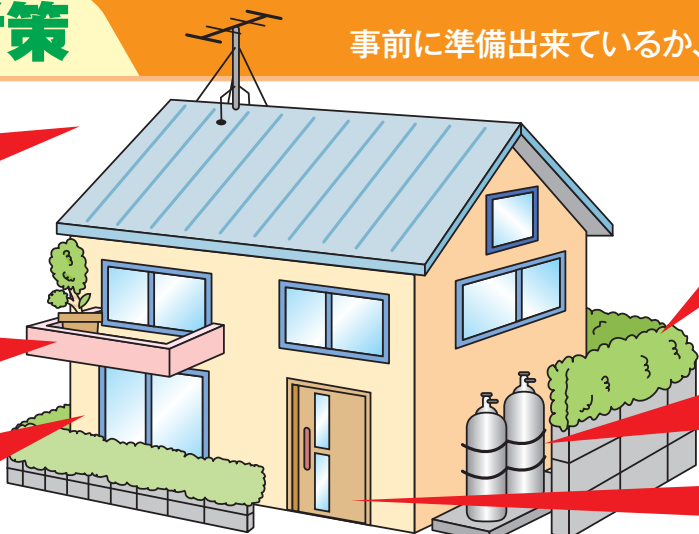
不安定な屋根のアンテナや、屋根がわらは補強しておく。

ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。



ブロック塀・門柱

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。

非常口の確保

マイ・タイムライン

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？

必ず取り組みましょう

防災マップで自分の家がある地区(住所)に危険区域があるか確認しましょう。

※防災マップは洪水や津波浸水、土砂災害による被害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある地区(住所)に「土砂災害警戒区域」・「浸水想定区域(洪水・津波)」のいずれかの色が塗られていますか？

「浸水(洪水、津波)」・「土砂災害」について原則として避難の必要はありませんが、地図を確認し、周り比べて低い土地(過去の洪水での浸水範囲)や崖のそばなどにお住まいの方は、必要に応じて避難行動をとってください。

はい

災害の危険があるので、原則として※、自宅の外に避難が必要です。

例外

強い揺れや弱くても長い揺れがあったら津波を意識

※浸水の危険があっても、

①浸水する深さよりも高いところにいる。(沿岸部や川沿いでは浸水深が低くても流れが速く、木造の建物は倒壊する可能性が高いため、避難が必要です。)

②浸水しても水が引くまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

※土砂災害の危険があっても、十分堅牢な建物の上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

はい

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

はい

いいえ

洪水や土砂災害に関する警戒レベル 3 が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

洪水や土砂災害に関する警戒レベル 3 が出たら、町が開設している指定緊急避難場所に避難しましょう

洪水や土砂災害に関する警戒レベル 4 が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

洪水や土砂災害に関する警戒レベル 4 が出たら、町が開設している指定緊急避難場所に避難しましょう

津波警報、津波注意報が発表されたら、沿岸部や川沿いにいる人はできる限り高いところへ、より遠いところへ避難。

※避難する場合には 44 ページの「災害時の感染症対策」をふまえて避難しましょう。

指定避難所・指定緊急避難場所一覧

避難が必要になったときにはまず「避難場所」へ、その後は「避難所」へと状況に応じて速やかに行動できるように心がけましょう！

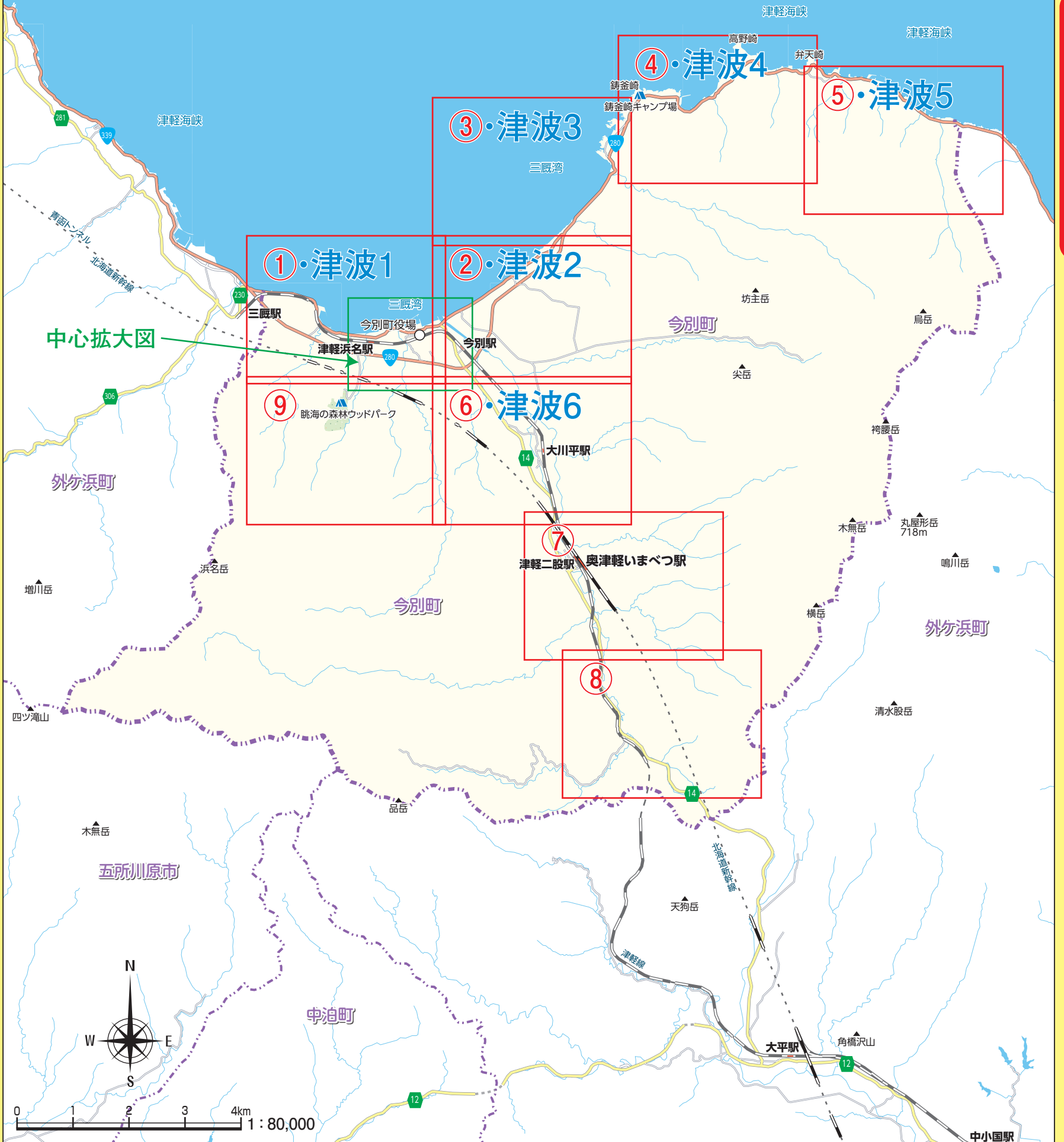
指定避難所一覧

NO	施設名	住所	掲載地図頁	対象とする異常な現象の種類			感染症 対策対応 可能施設
				洪水	土砂 災害	津波	
①	旧今別小学校	今別字中沢 205	P13・31・33	●	●	●	
②	今別中学校	山崎字山崎 108-1	P14・31・34	●	●		
③	旧大川平小学校	大川平字熊沢 67	P23・43	●		●	
④	旧二股小学校	大川平字二股 2	P24	●	●	●	
⑤	海峡の家ほろづき	褰月字村下 70-2	P19・39	●	●	●	●
⑥	今別小学校	今別字西田 258-90	P13・30・33	●	●	●	
⑦	今別町開発センター	今別字中沢 165-12	P14・31・34	●	●	●	●
⑧	今別町中央公民館	今別字今別 166	P13・31・33	●	●		
⑨	浜名公民館	浜名字浜名沢 14-21	P13・33	●	●		
⑩	参集殿	今別字今別 2-30	P13・14・31・33・34	●	●		
⑪	大川平文化会館	大川平字熊沢 40-5	P23・43			●	
⑫	二股福祉館	大川平字二股 8-3	P24	●	●	●	
⑬	荒馬の里活性化センター	大川平字清川 384-4	P23・43	●	●	●	●
⑭	山崎文化会館	山崎字山元 58	P15・35	●	●	●	
⑮	大泊文化会館	大泊字大村元 32-1	P17・37	●			
⑯	褰月会館	褰月字褰村元 85	P18・38	●			
⑰	多目的集会所	砂ヶ森字砂村元 91	P19・39	●			
⑱	奥平部集会所	奥平部字奥村元 95-13	P20・40	●			
⑲	今別こども園	今別字中沢 165-1	P14・31・34	●		●	
⑳	奥平部避難所	奥平部字赤坂 20	P20・40	●	●	●	
㉑	体験交流センター	今別山国有林	P29	●	●	●	
㉒	いまべつ総合体育館	大川平字清川 121-3	P24	●	●	●	●
㉓	道の駅 いまべつ半島プラザアスクル	大川平字清川 87-16	P24	●	●	●	
㉔	西田コミュニティハウス	今別字西田 385-2	P13・30・33	●		●	
㉕	八幡町集会所	今別字中沢 8-6	P14・31・34	●	●		
㉖	鍋田会館	鍋田字関口 1	P15・35	●	●	●	
㉗	関口コミュニティハウス	鍋田字関口 140-1	P15・35	●	●	●	
㉘	村元集会所	山崎字山崎 107-11	P14・31・34		●		
㉙	社会福祉法人双樹苑	今別字西田 248-205	P13・31・33	●		●	

指定緊急避難場所一覧

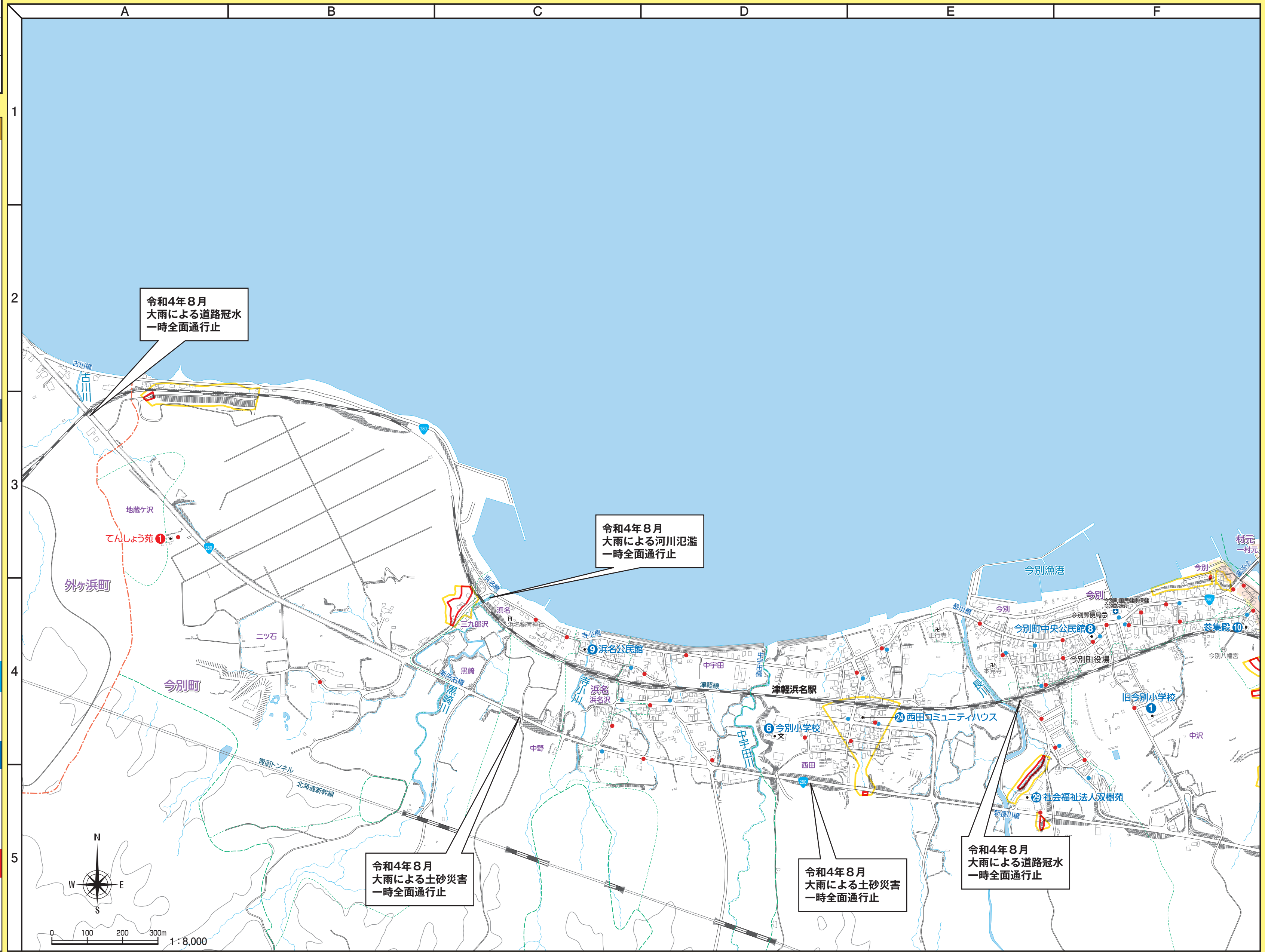
NO	施設・場所名	住所	掲載地図頁	対象とする異常な現象の種類						
				洪水	土砂 災害	高潮	地震	津波	大規模 な火事	内水 氾濫
①	てんしょう苑	浜名字二ツ石 7-409	P12・32	●	●	●		●	●	●
②	大泊浄水場	大泊字上山崎 63-7	P17・18・37・38	●		●		●	●	
③	大泊稲荷神社	大泊字大村元 7-1	P17・18・37・38	●		●				
④	旧開智小学校跡地	奥平部字村元道添 66-4	P20・40	●		●	●	●	●	●
⑤	砂ヶ森稲荷神社	砂ヶ森字砂村元 40-1	P19・39			●		●		●
⑥	奥津軽いまべつ駅屋内駐車場	大川平字清川 92-1	P24	●		●	●	●	●	
⑦	村元河川公園	今別字宮本 21 地先	P14・31・34		●		●			●
⑧	海峡あすなろ公園	今別字中沢 54-2	P14・31・34		●		●		●	
⑨	今別町山村広場	山崎字山崎 73-1	P14・34		●		●		●	
⑩	眺海の森林ウッドパーク	今別山国有林 107	P29	●		●		●	●	●
⑪	鑄釜崎キャンプ場	大泊字鑄釜 21-1	P18・38	●	●	●	●	●		
⑫	褰月稲荷神社	褰月字褰村元 59	P19・39			●		●		

今別町全体図



避難所一覧・全体図

	3
1	2
9	6



土砂災害凡例

土砂災害特別警戒区域
著しい危険が生じる恐れのある区域
レッドゾーン

土砂災害警戒区域
危険が生じる恐れのある区域
イエローゾーン

地すべり区域

河川浸水想定(最大浸水)

浸水深0.5m未満

浸水深0.5~3.0m未満

浸水深3.0~5.0m未満

浸水深5.0~10.0m未満

消防設備

- 消火栓
- 防火水槽

指定避難所

③ (例) ○○公園
青色の番号と施設名で表示

指定緊急避難場所

③ (例) ○○公園
赤色の番号と施設名で表示

洪水・土砂マップ

洪水・土砂マップ

	3
1	2
9	6

土砂災害凡例

土砂災害
特別警戒区域

著しい危険が生じる恐れのある区域
レッドゾーン



土砂災害
警戒区域

危険が生じる恐れのある区域
イエローゾーン



地すべり区域



河川浸水想定(最大浸水)

浸水深0.5m未満



浸水深0.5~3.0m未満



浸水深3.0~5.0m未満



浸水深5.0~10.0m未満



消防設備

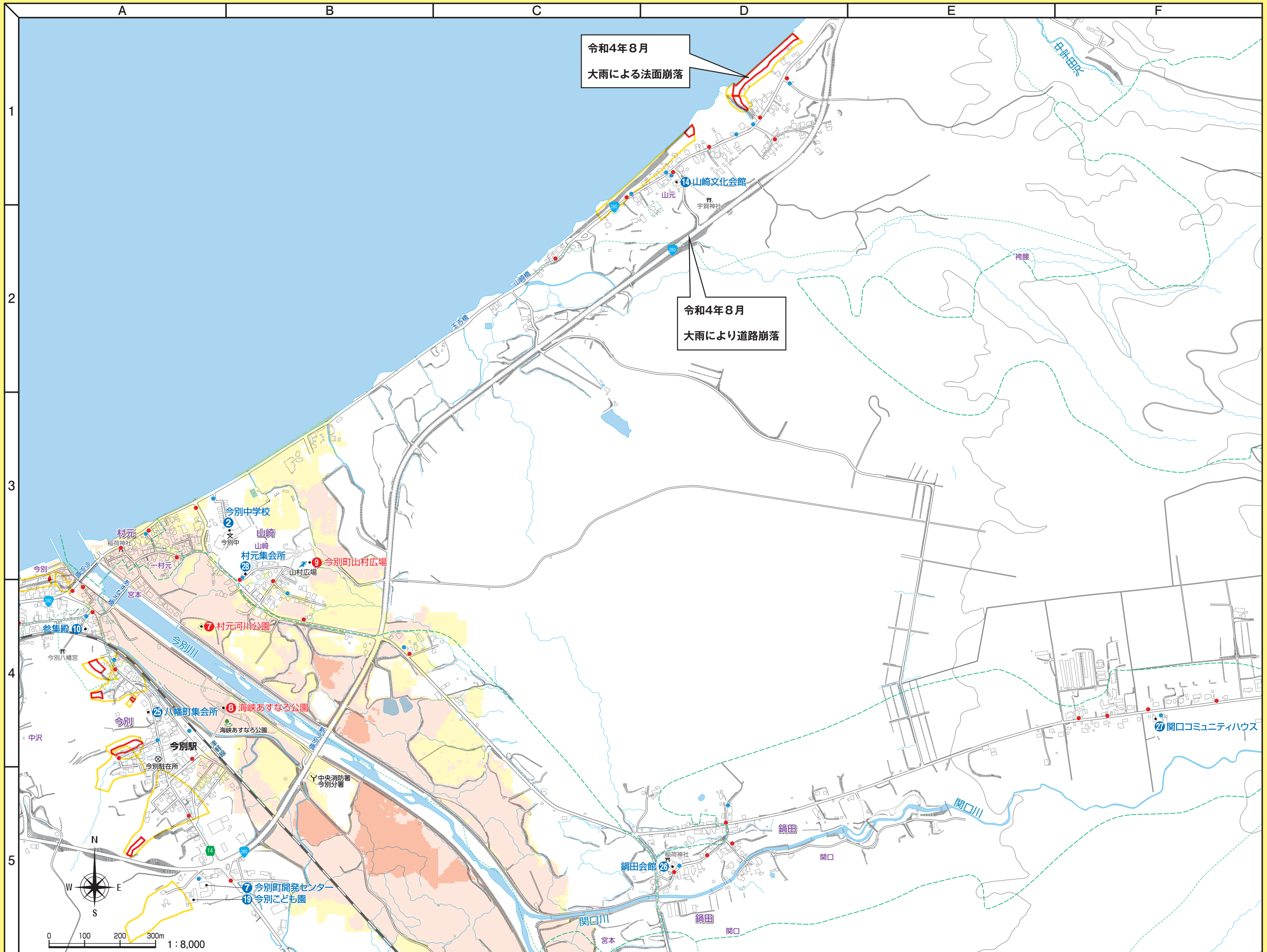
- 消火栓
- 防火水槽

指定避難所

- ③ (例) ○○公園
- 青色の番号と施設名で表示

指定緊急避難場所

- ③ (例) ○○公園
- 赤色の番号と施設名で表示



洪水・土砂マップ

洪水・土砂マップ

		3	4
1	2		

土砂災害凡例

土砂災害
特別警戒区域

著しい危険が生じる恐れのある区域
レッドゾーン



土砂災害
警戒区域

危険が生じる恐れのある区域
イエローゾーン



地すべり区域

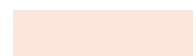


河川浸水想定(最大浸水)

浸水深0.5m未満



浸水深0.5~3.0m未満



浸水深3.0~5.0m未満



浸水深5.0~10.0m未満



消防設備

- 消火栓
- 防火水槽

指定避難所

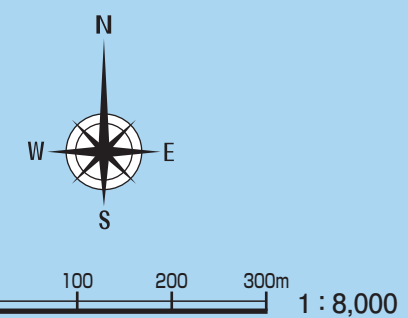
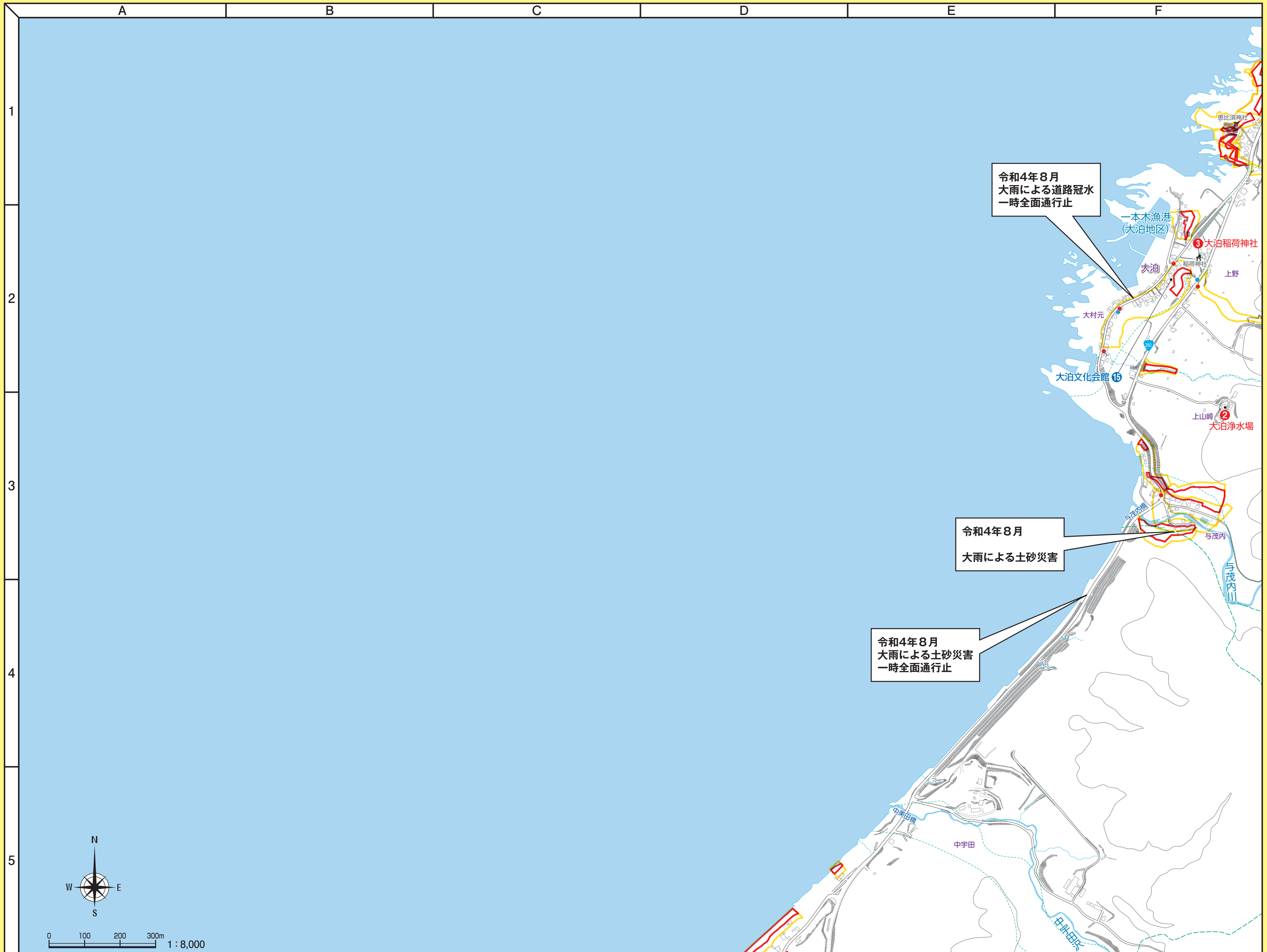
③ (例)○○公園

青色の番号と
施設名で表示

指定緊急避難場所

③ (例)○○公園

赤色の番号と
施設名で表示



洪水・土砂マップ

洪水・土砂マップ

土砂災害凡例

土砂災害
特別警戒区域

著しい危険が生じる恐れのある区域
レッドゾーン



土砂災害
警戒区域

危険が生じる恐れのある区域
イエローゾーン



地すべり区域

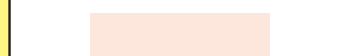


河川浸水想定(最大浸水)

浸水深0.5m未満



浸水深0.5~3.0m未満



浸水深3.0~5.0m未満



浸水深5.0~10.0m未満



消防設備

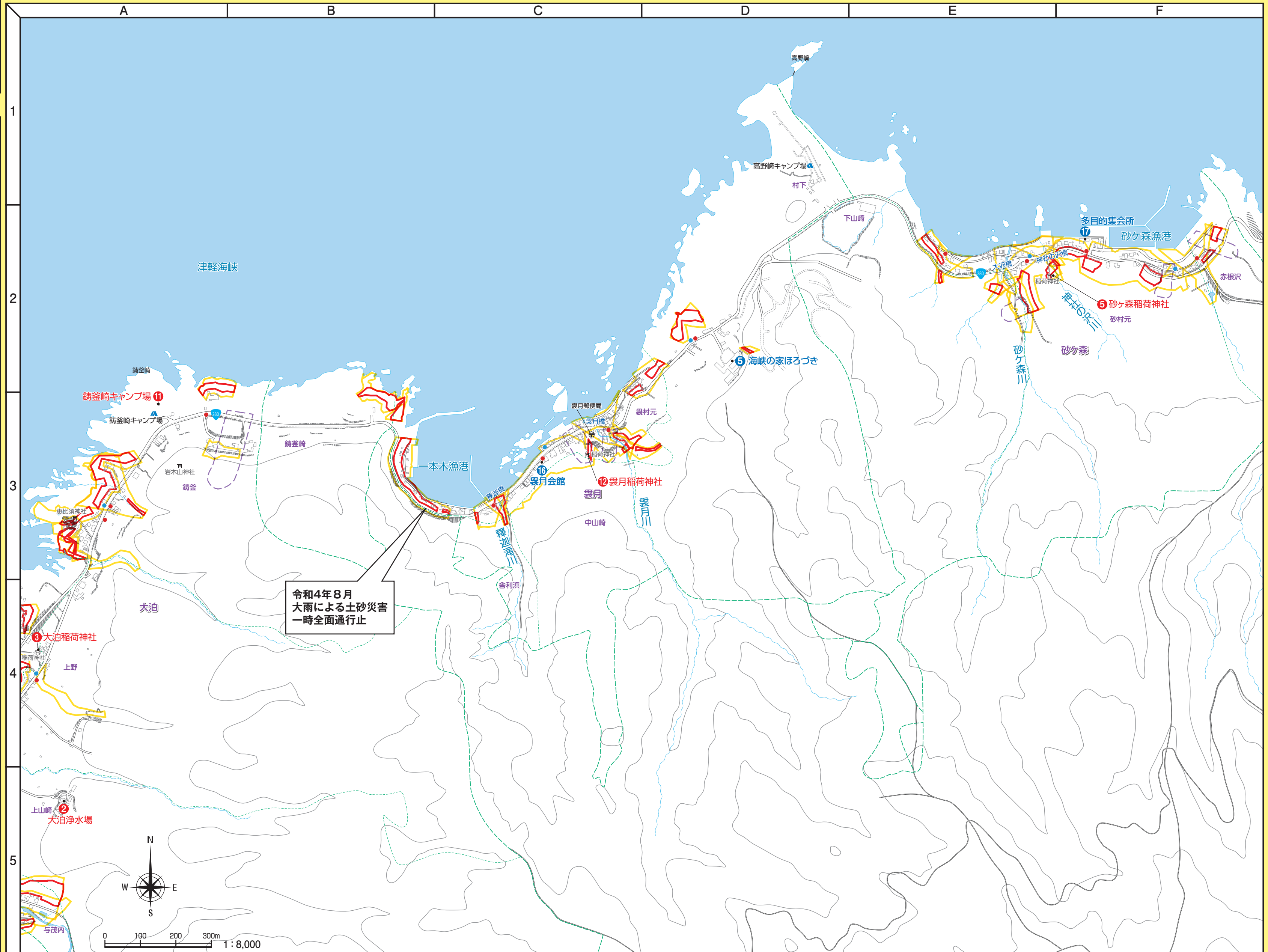
- 消火栓
- 防火水槽

指定避難所

③ (例) ○○公園
青色の番号と施設名で表示

指定緊急避難場所

③ (例) ○○公園
赤色の番号と施設名で表示



土砂災害凡例

土砂災害
特別警戒区域

著しい危険が生じる恐れのある区域
レッドゾーン



土砂災害
警戒区域

危険が生じる恐れのある区域
イエローゾーン

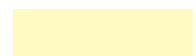


地すべり区域

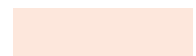


河川浸水想定(最大浸水)

浸水深0.5m未満



浸水深0.5~3.0m未満



浸水深3.0~5.0m未満



浸水深5.0~10.0m未満



消防設備

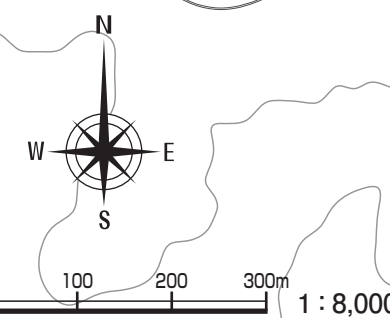
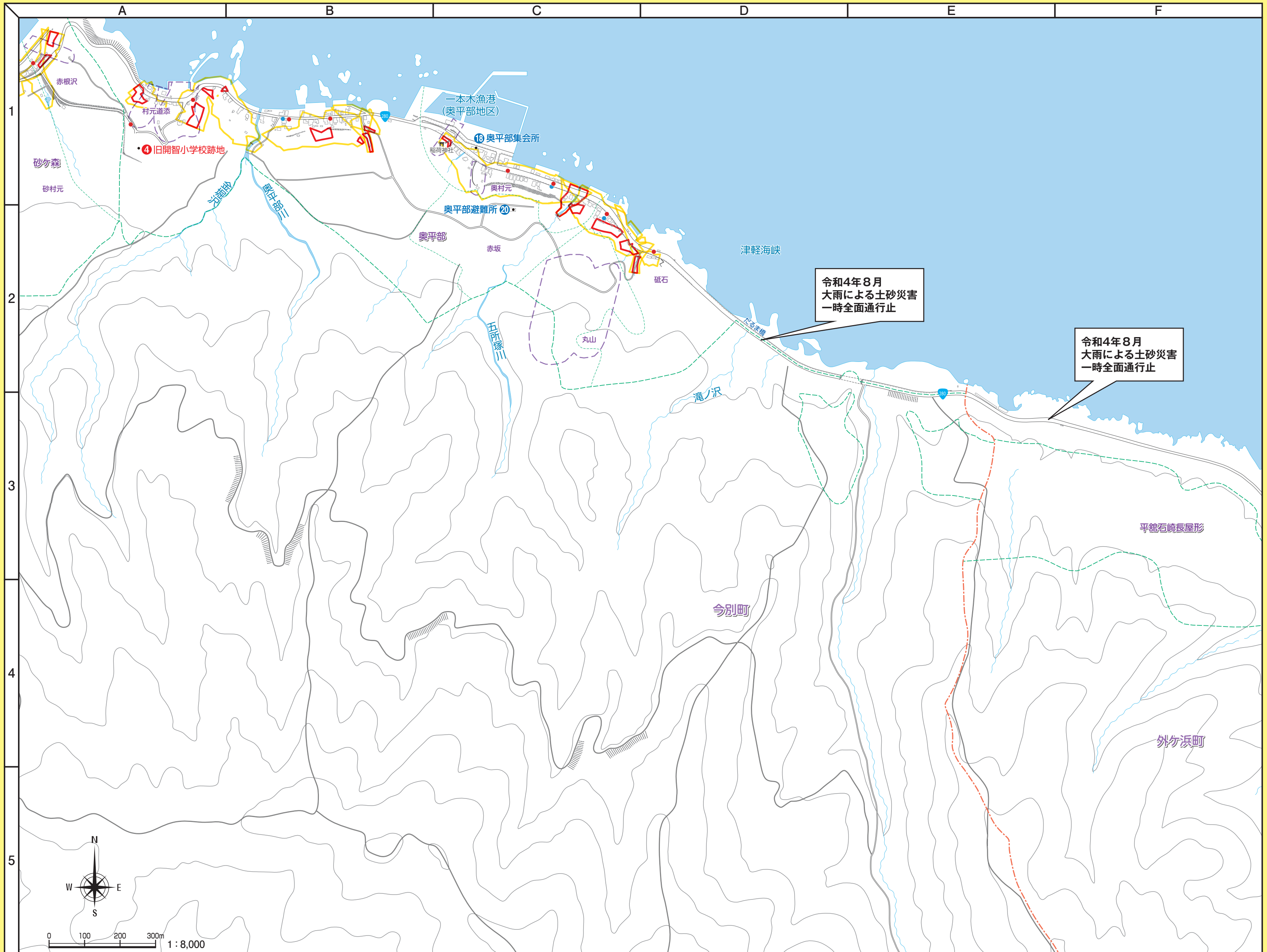
- 消火栓
- 防火水槽

指定避難所

- ③ (例) ○○公園
- 青色の番号と施設名で表示

指定緊急避難場所

- ③ (例) ○○公園
- 赤色の番号と施設名で表示



洪水・土砂マップ

洪水・土砂マップ

1	2
9	6
	7

土砂災害凡例

土砂災害
特別警戒区域

著しい危険が生じる恐れのある区域
レッドゾーン



土砂災害
警戒区域

危険が生じる恐れのある区域
イエローゾーン



地すべり区域

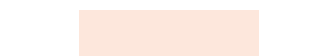


河川浸水想定(最大浸水)

浸水深0.5m未満



浸水深0.5~3.0m未満



浸水深3.0~5.0m未満



浸水深5.0~10.0m未満



消防設備

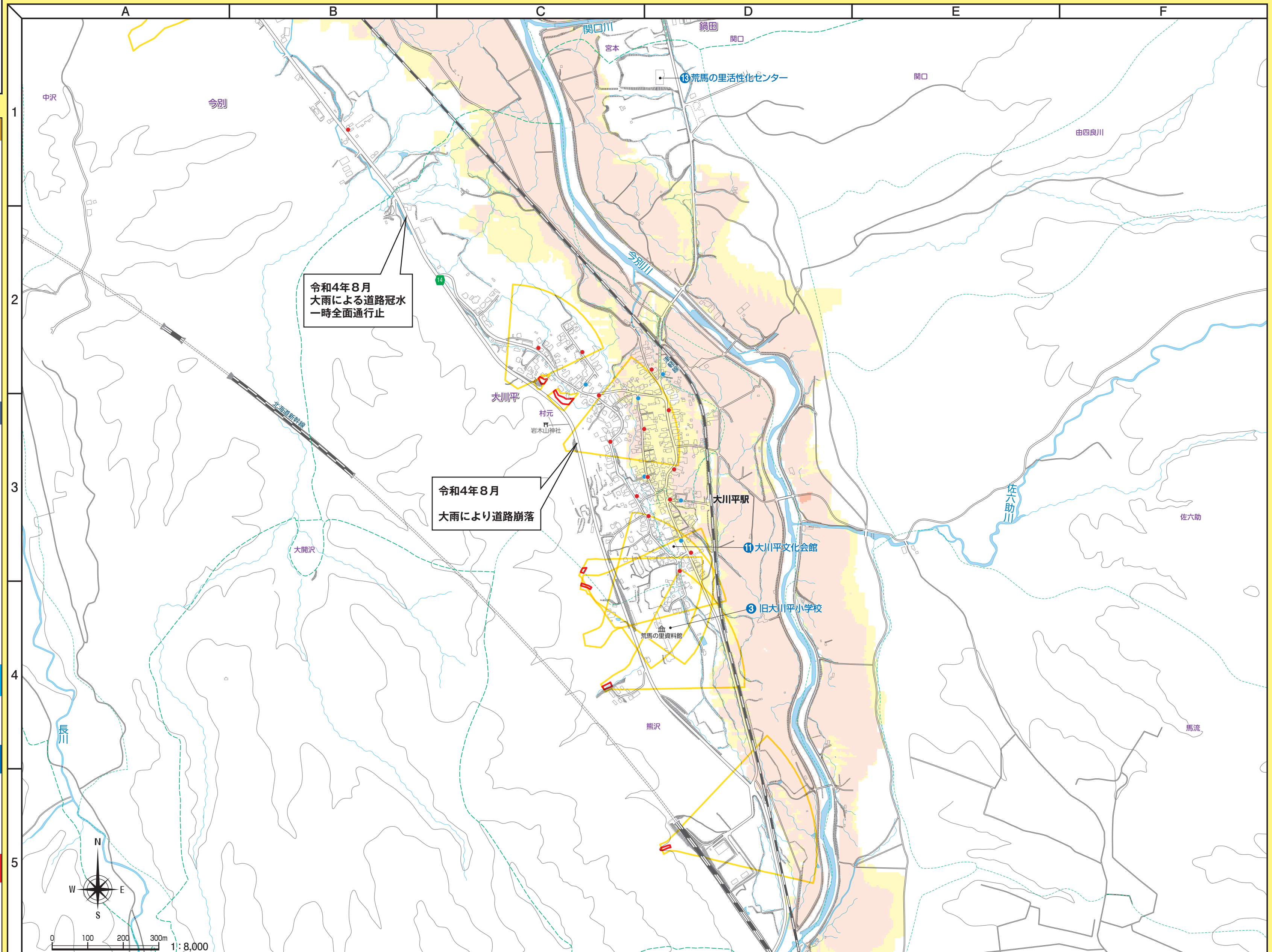
- 消火栓
- 防火水槽

指定避難所

- ③ (例) ○○公園
- 青色の番号と施設名で表示

指定緊急避難場所

- ③ (例) ○○公園
- 赤色の番号と施設名で表示



洪水・土砂マップ

洪水・土砂マップ

9 6
7
8

土砂災害凡例

土砂災害
特別警戒区域

著しい危険が生じる恐れのある区域
レッドゾーン



土砂災害
警戒区域

危険が生じる恐れのある区域
イエローゾーン

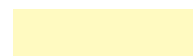


地すべり区域

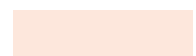


河川浸水想定(最大浸水)

浸水深0.5m未満



浸水深0.5~3.0m未満



浸水深3.0~5.0m未満



浸水深5.0~10.0m未満



消防設備

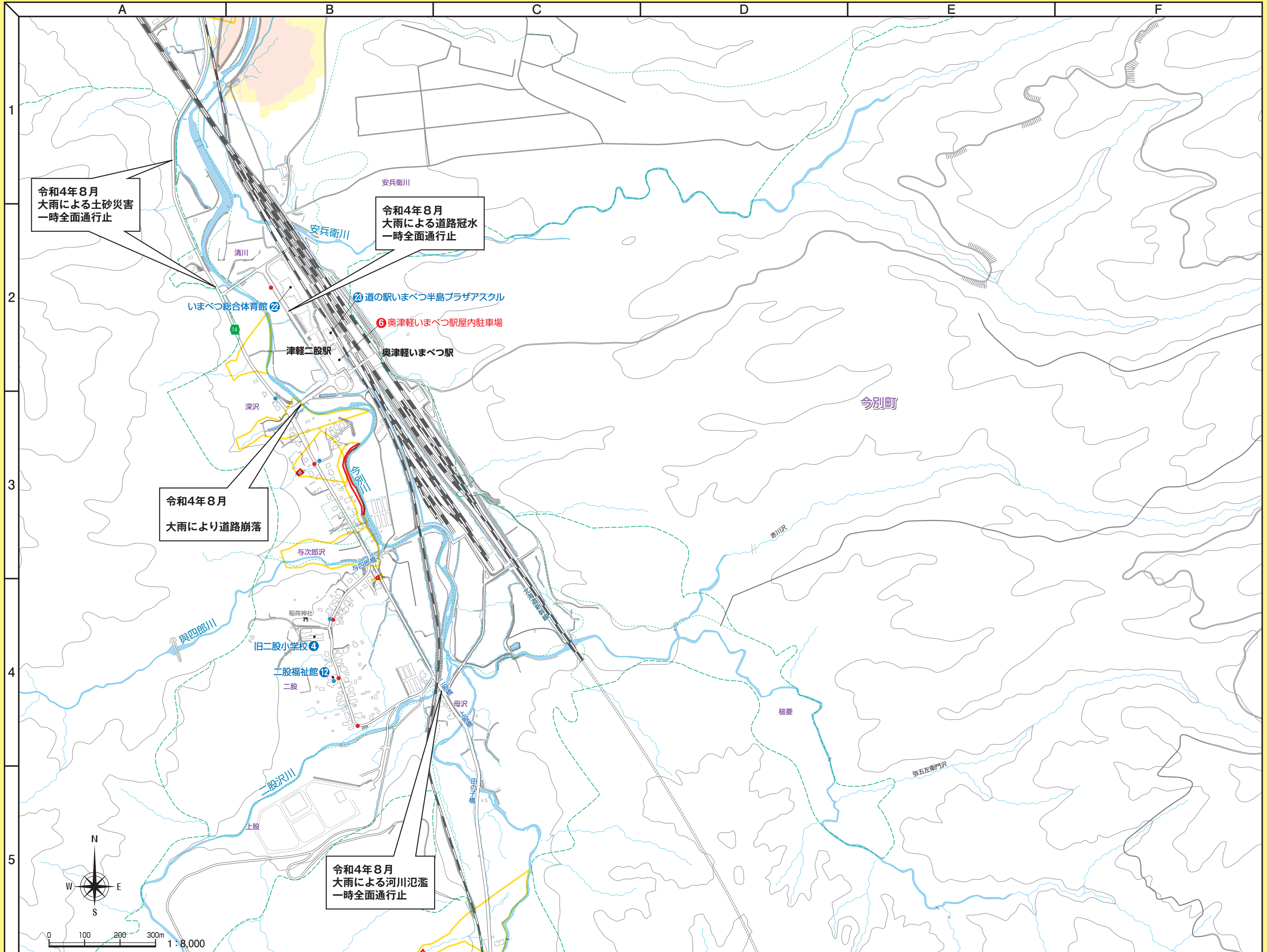
- 消火栓
- 防火水槽

指定避難所

- ③ (例) ○○公園
- 青色の番号と施設名で表示

指定緊急避難場所

- ③ (例) ○○公園
- 赤色の番号と施設名で表示



洪水・土砂マップ

洪水・土砂マップ

7

8

土砂災害凡例

土砂災害
特別警戒区域

著しい危険が生じる恐れのある区域
レッドゾーン



土砂災害
警戒区域

危険が生じる恐れのある区域
イエローゾーン



地すべり区域

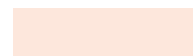


河川浸水想定(最大浸水)

浸水深0.5m未満



浸水深0.5~3.0m未満



浸水深3.0~5.0m未満



浸水深5.0~10.0m未満



消防設備

- 消火栓
- 防火水槽

指定避難所

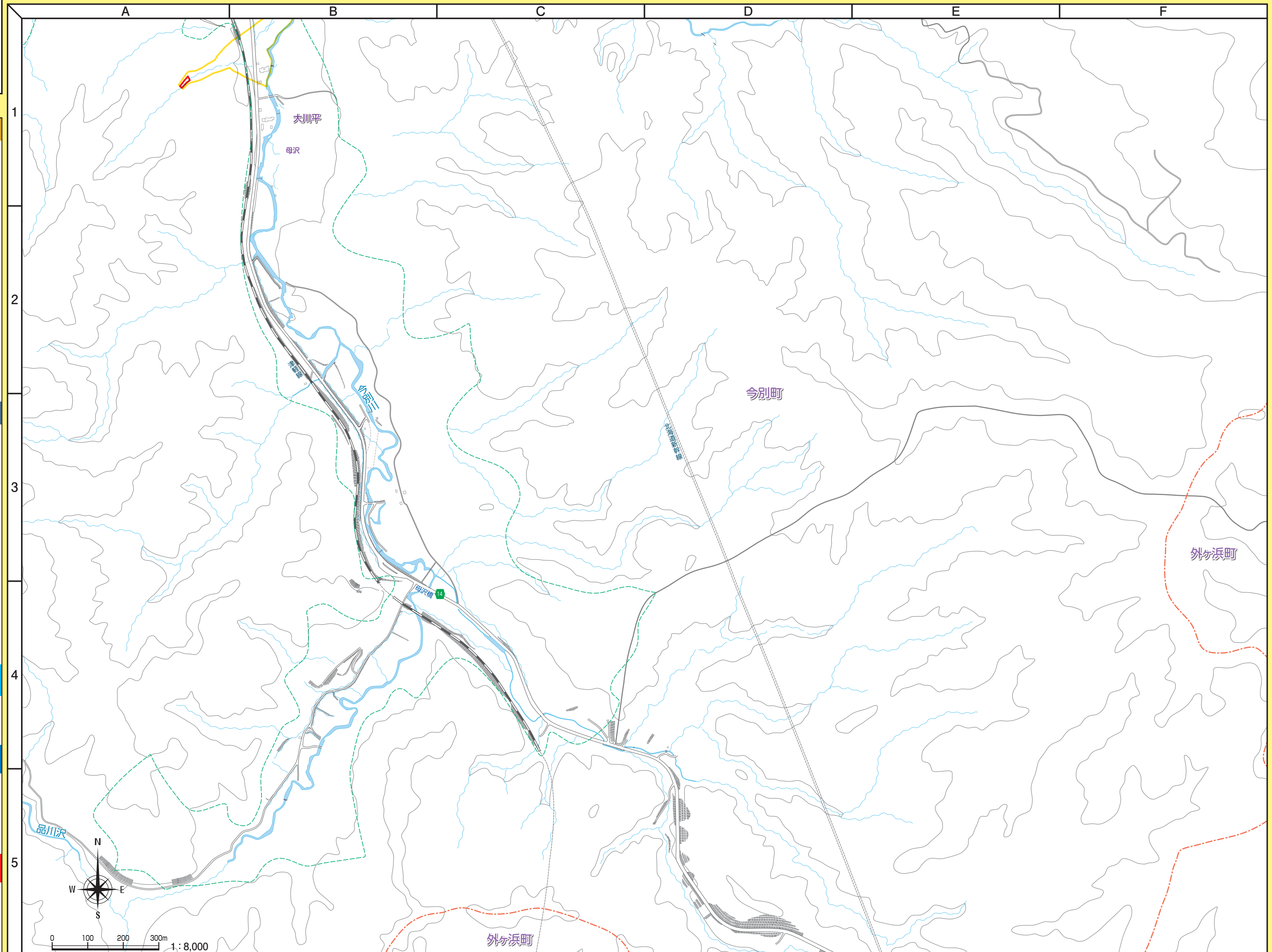
③ (例)○○公園

青色の番号と
施設名で表示

指定緊急避難場所

③ (例)○○公園

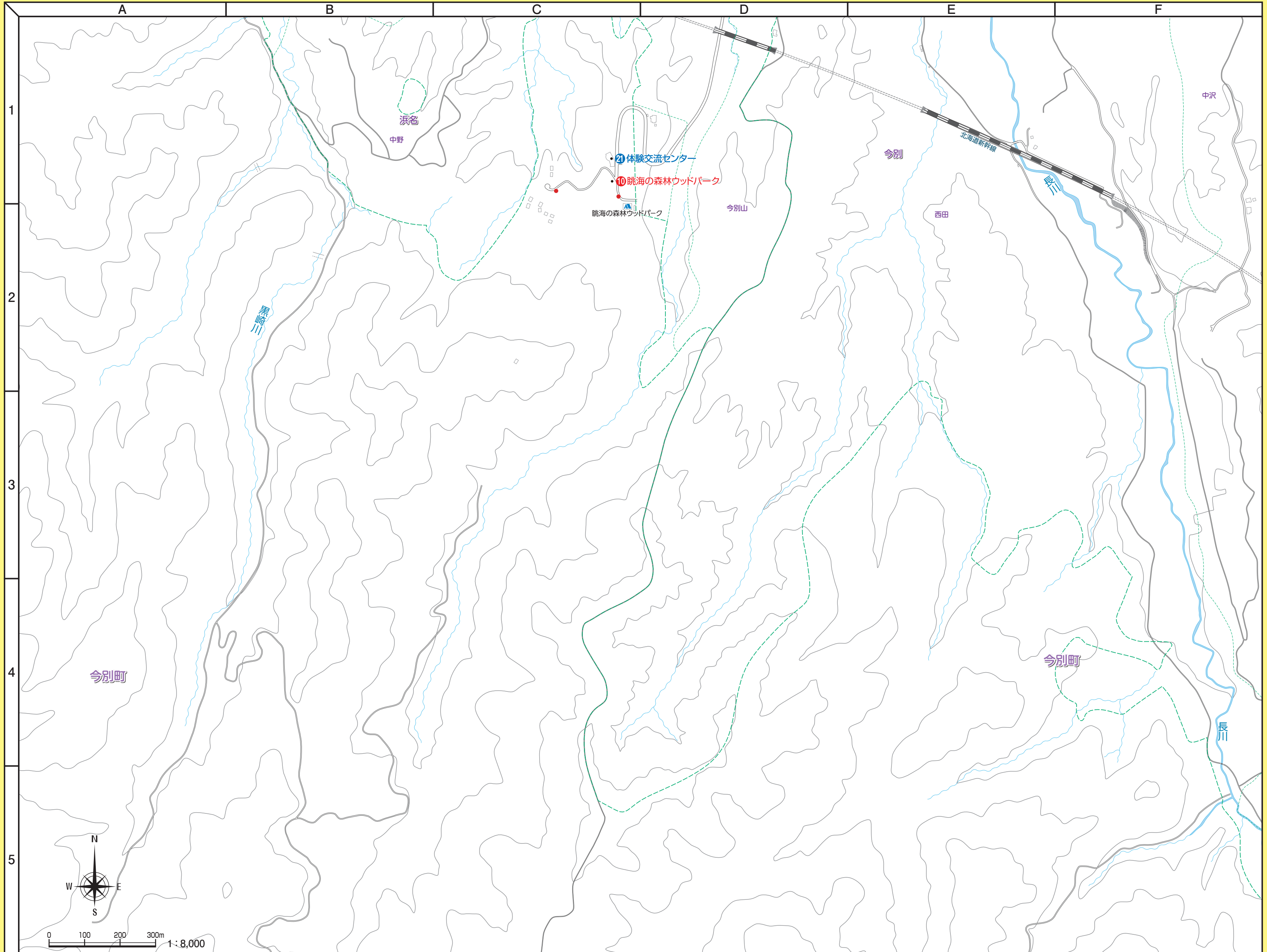
赤色の番号と
施設名で表示



洪水・土砂マップ

洪水・土砂マップ

1	2
9	6
	7



土砂災害凡例

土砂災害特別警戒区域
著しい危険が生じる恐れのある区域
レッドゾーン

土砂災害警戒区域
危険が生じる恐れのある区域
イエローゾーン

地すべり区域

河川浸水想定(最大浸水)

浸水深0.5m未満

浸水深0.5~3.0m未満

浸水深3.0~5.0m未満

浸水深5.0~10.0m未満

消防設備

- 消火栓
- 防火水槽

指定避難所

③ (例)○○公園
青色の番号と施設名で表示

指定緊急避難場所

③ (例)○○公園
赤色の番号と施設名で表示

洪水・土砂マップ

洪水・土砂マップ

中心拡大図

土砂災害凡例

土砂災害特別警戒区域
著しい危険が生じる恐れのある区域
レッドゾーン

土砂災害警戒区域
危険が生じる恐れのある区域
イエローゾーン

地すべり区域

河川浸水想定(最大浸水)

浸水深0.5m未満

浸水深0.5~3.0m未満

浸水深3.0~5.0m未満

浸水深5.0~10.0m未満

消防設備

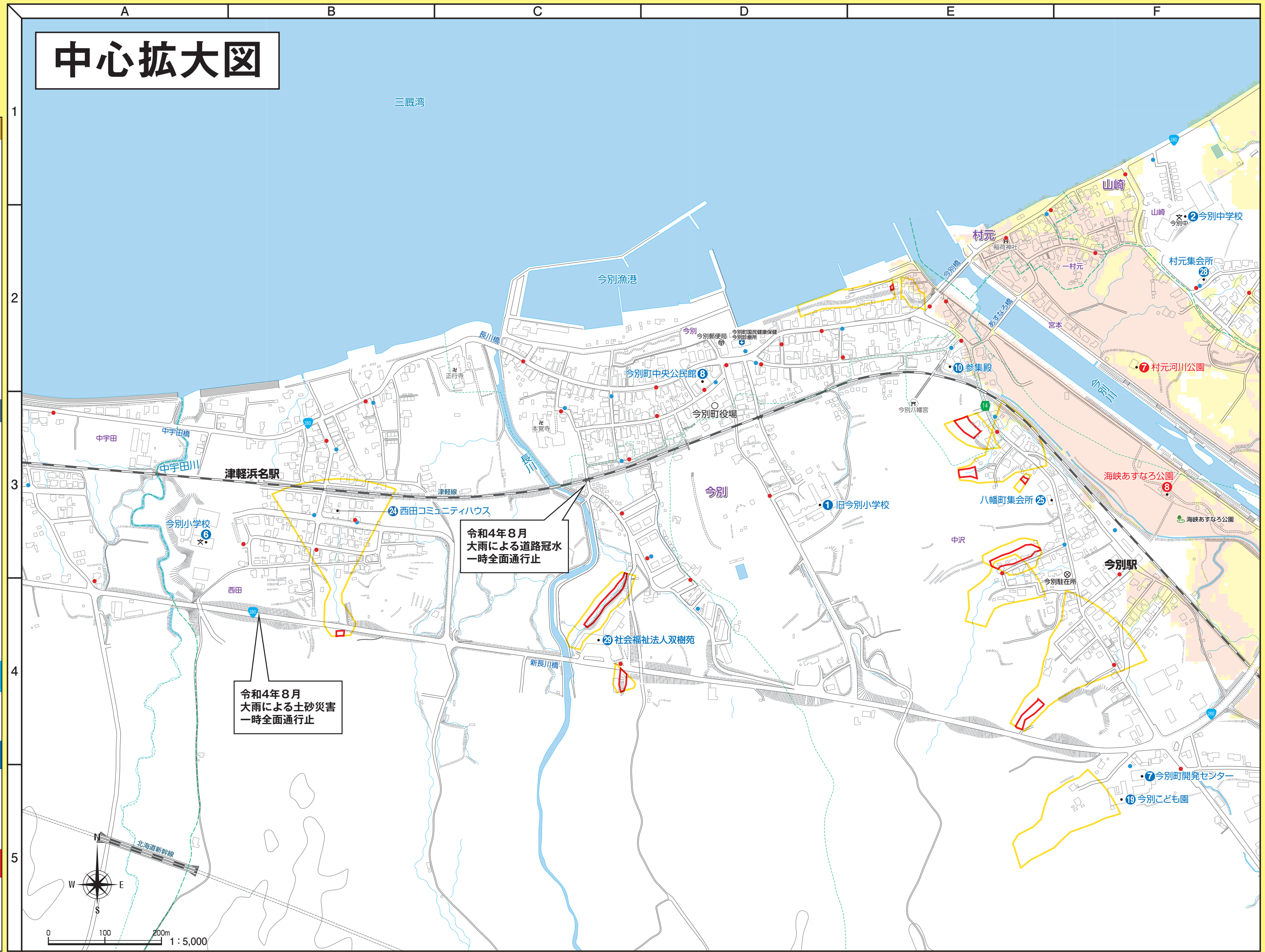
- 消火栓
- 防火水槽

指定避難所

③ (例) ○○公園
青色の番号と施設名で表示

指定緊急避難場所

③ (例) ○○公園
赤色の番号と施設名で表示



洪水・土砂マップ

洪水・土砂マップ

3
1 2
6

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に伴い発生する津波をモデルに、
浸水想定区域を作成しています。
「津波の到達時間」出典：令和三年五月青森県作成 津波浸水想定図
※津波影響開始時間：代表地点において地震発生から初期水位±20cmの変化
(海辺にいる人々の人命に影響が出る恐れのある水位変化)が生じるまでの時間

津波基準水位

- 浸水深0.3m未満
- 浸水深0.3~0.5m未満
- 浸水深0.5~1.0m未満
- 浸水深1.0~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満
- 浸水深10.0~20.0m未満
- 浸水深20.0m以上

消防設備

- 消火栓
- 防火水槽

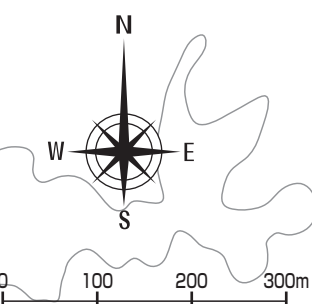
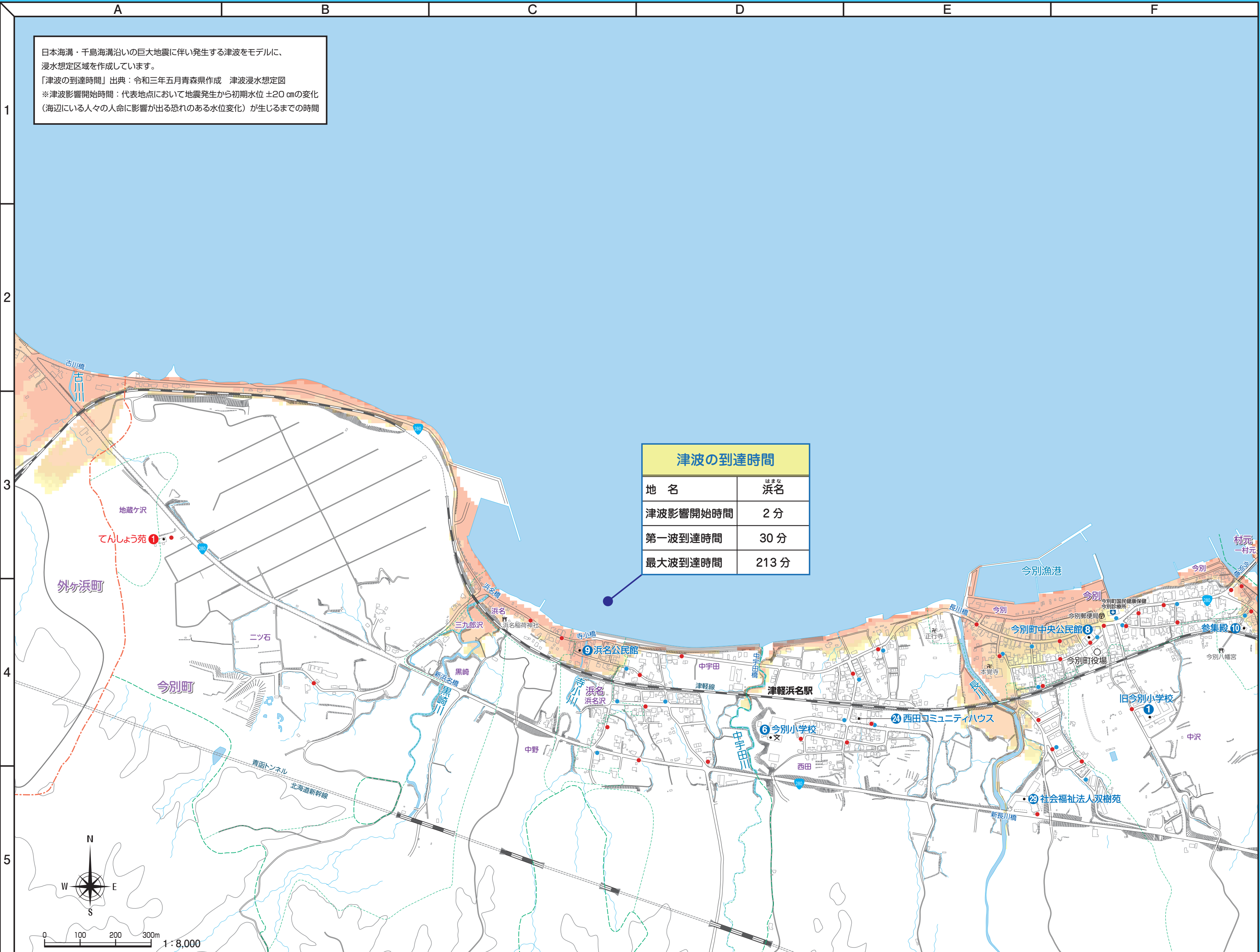
指定避難所

③ (例) ○○公園
青色の番号と施設名で表示

指定緊急避難場所

③ (例) ○○公園
赤色の番号と施設名で表示

津波の到達時間	
地名	浜名
津波影響開始時間	2分
第一波到達時間	30分
最大波到達時間	213分



津波マップ

津波マップ

	3	
1	2	
	6	

津波基準水位

- 浸水深0.3m未満
- 浸水深0.3~0.5m未満
- 浸水深0.5~1.0m未満
- 浸水深1.0~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満
- 浸水深10.0~20.0m未満
- 浸水深20.0m以上

消防設備

- 消火栓
- 防火水槽

指定避難所

- ③ (例) ○○公園
- 青色の番号と施設名で表示

指定緊急避難場所

- ③ (例) ○○公園
- 赤色の番号と施設名で表示

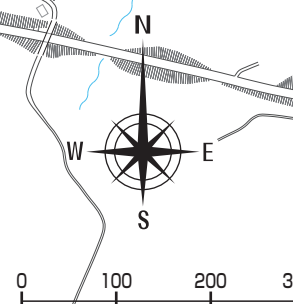
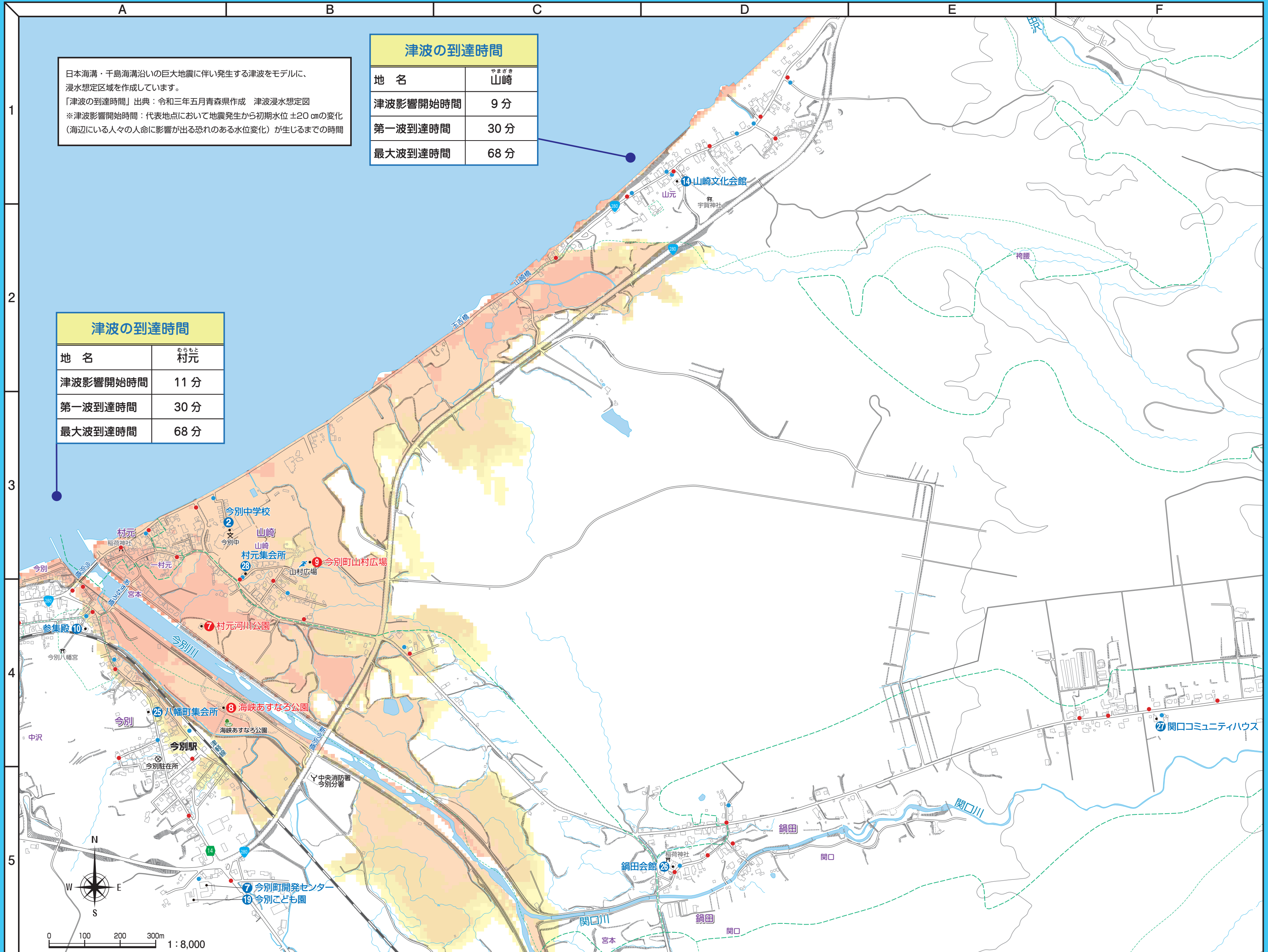
日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に伴い発生する津波をモデルに、浸水想定区域を作成しています。
 「津波の到達時間」出典：令和三年五月青森県作成 津波浸水想定図
 ※津波影響開始時間：代表地点において地震発生から初期水位±20cmの変化(海辺にいる人々の人命に影響が出る恐れのある水位変化)が生じるまでの時間

津波の到達時間

地名	山崎
津波影響開始時間	9分
第一波到達時間	30分
最大波到達時間	68分

津波の到達時間

地名	村元
津波影響開始時間	11分
第一波到達時間	30分
最大波到達時間	68分



津波マップ

津波マップ

3 4
1 2

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に伴い発生する津波をモデルに、
浸水想定区域を作成しています。
「津波の到達時間」出典：令和三年五月青森県作成 津波浸水想定図
※津波影響開始時間：代表地点において地震発生から初期水位±20cmの変化
(海辺にいる人々の人命に影響が出る恐れのある水位変化)が生じるまでの時間

津波基準水位

- 浸水深0.3m未満
- 浸水深0.3~0.5m未満
- 浸水深0.5~1.0m未満
- 浸水深1.0~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満
- 浸水深10.0~20.0m未満
- 浸水深20.0m以上

消防設備

- 消火栓
- 防火水槽

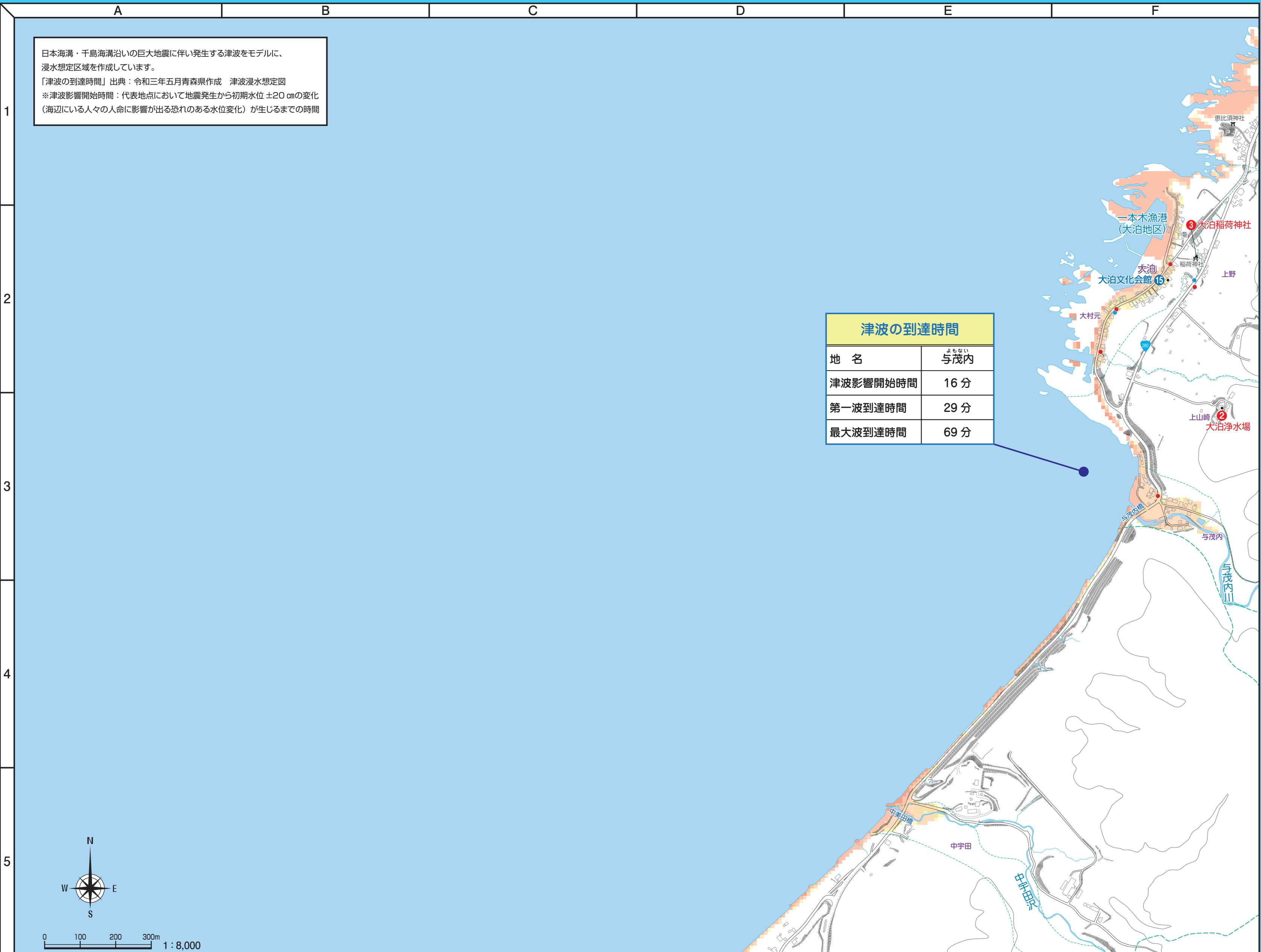
指定避難所

③(例)○○公園
青色の番号と施設名で表示

指定緊急避難場所

③(例)○○公園
赤色の番号と施設名で表示

津波の到達時間	
地名	与茂内
津波影響開始時間	16分
第一波到達時間	29分
最大波到達時間	69分



3 **4** 5

津波基準水位

浸水深0.3m未満



浸水深0.3~0.5m未満



浸水深0.5~1.0m未満



浸水深1.0~3.0m未満



浸水深3.0~5.0m未満



浸水深5.0~10.0m未満



浸水深10.0~20.0m未満



浸水深20.0m以上



消防設備

- 消火栓
- 防火水槽

指定避難所

③ (例) ○○公園
青色の番号と施設名で表示

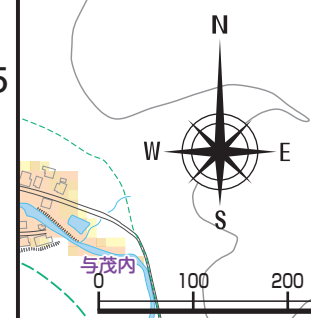
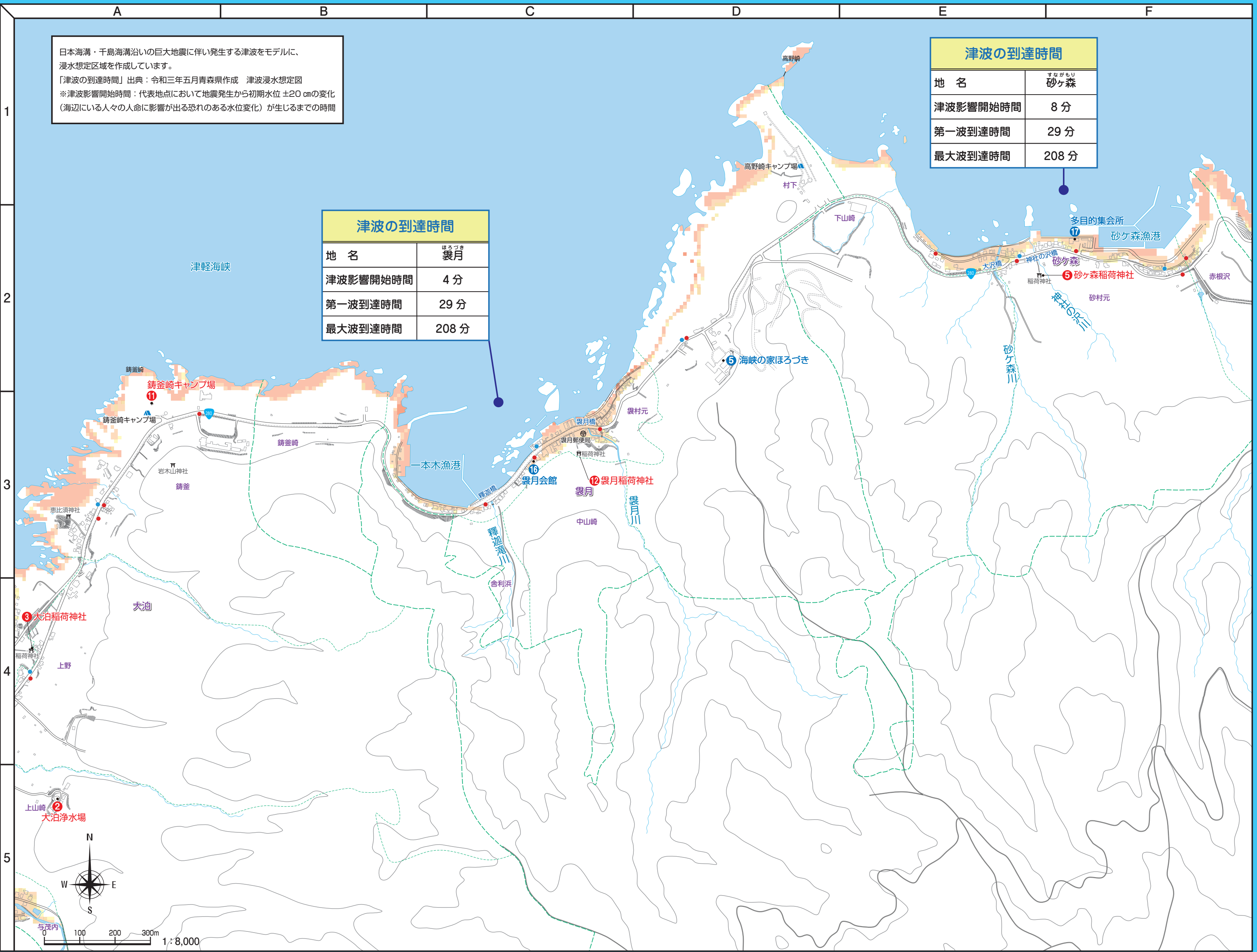
指定緊急避難場所

③ (例) ○○公園
赤色の番号と施設名で表示

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に伴い発生する津波をモデルに、浸水想定区域を作成しています。
「津波の到達時間」出典：令和三年五月青森県作成 津波浸水想定図
※津波影響開始時間：代表地点において地震発生から初期水位 ±20 cmの変化（海辺にいる人々の人命に影響が出る恐れのある水位変化）が生じるまでの時間

津波の到達時間	
地名	すなごもり 砂ヶ森
津波影響開始時間	8分
第一波到達時間	29分
最大波到達時間	208分

津波の到達時間	
地名	ほろづき 裏月
津波影響開始時間	4分
第一波到達時間	29分
最大波到達時間	208分



津波マップ

津波マップ

津波基準水位

- 浸水深0.3m未満
- 浸水深0.3~0.5m未満
- 浸水深0.5~1.0m未満
- 浸水深1.0~3.0m未満
- 浸水深3.0~5.0m未満
- 浸水深5.0~10.0m未満
- 浸水深10.0~20.0m未満
- 浸水深20.0m以上

消防設備

- 消火栓
- 防火水槽

指定避難所

- ③ (例) ○○公園
- 青色の番号と施設名で表示

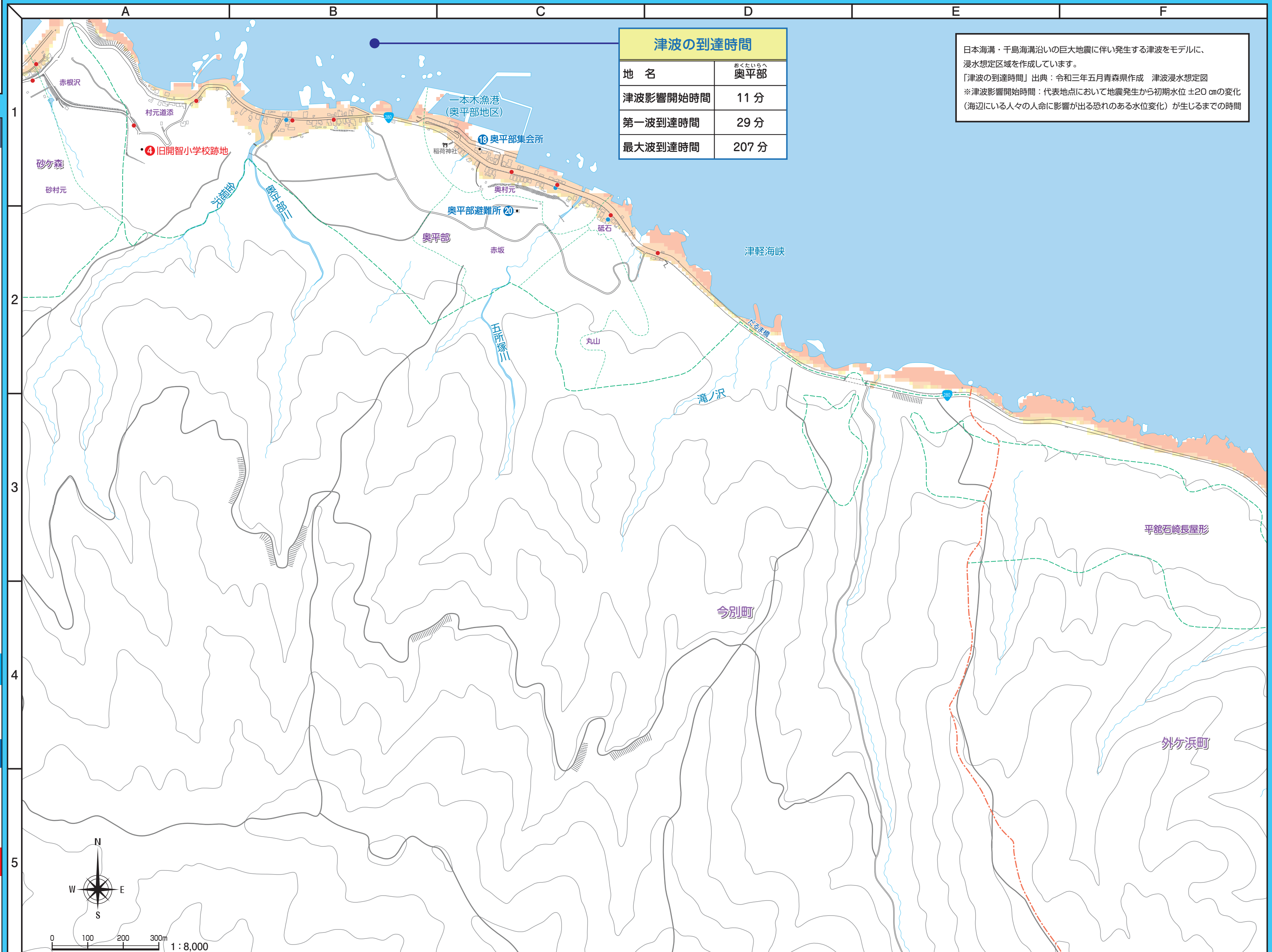
指定緊急避難場所

- ③ (例) ○○公園
- 赤色の番号と施設名で表示

津波の到達時間

地名	おくたいらへ 奥平部
津波影響開始時間	11分
第一波到達時間	29分
最大波到達時間	207分

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に伴い発生する津波をモデルに、浸水想定区域を作成しています。
 「津波の到達時間」出典：令和三年五月青森県作成 津波浸水想定図
 ※津波影響開始時間：代表地点において地震発生から初期水位±20cmの変化(海辺にいる人々の人命に影響が出る恐れのある水位変化)が生じるまでの時間



1 2
6

津波基準水位

浸水深0.3m未満

浸水深0.3~0.5m未満

浸水深0.5~1.0m未満

浸水深1.0~3.0m未満

浸水深3.0~5.0m未満

浸水深5.0~10.0m未満

浸水深10.0~20.0m未満

浸水深20.0m以上

消防設備

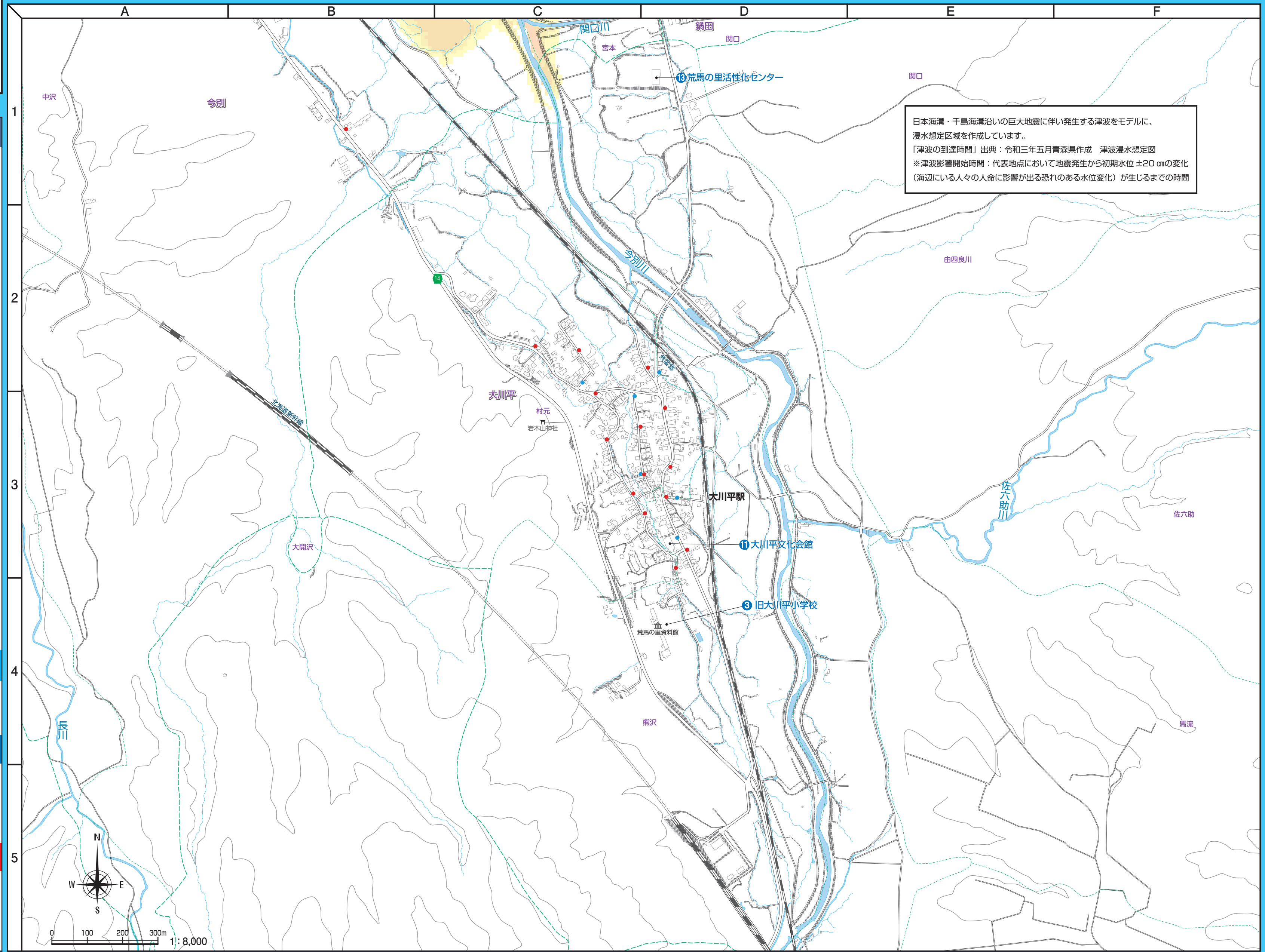
- 消火栓
- 防火水槽

指定避難所

③ (例) ○○公園
青色の番号と施設名で表示

指定緊急避難場所

③ (例) ○○公園
赤色の番号と施設名で表示



日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に伴い発生する津波をモデルに、浸水想定区域を作成しています。
 「津波の到達時間」出典：令和三年五月青森県作成 津波浸水想定図
 ※津波影響開始時間：代表地点において地震発生から初期水位 ±20 cm の変化（海辺に人々の人命に影響が出る恐れのある水位変化）が生じるまでの時間

津波マップ

津波マップ

災害時の感染症対策

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう

新型コロナウイルス感染症等が収束しない中でも、
災害時には、**危険な場所にいる人は**
避難することが原則です。

知っておくべきポイント

- 避難とは[難]を[避]けること。
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校・公共施設だけではありません。
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- 避難所に避難する場合は、マスク・消毒液・体温計をできるだけ自ら携行して下さい。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。
やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認して下さい。

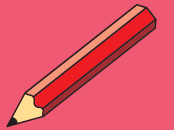


新型コロナウイルス等の対策で非常持ちだし袋に加えたいもの

- ① マスク
- ② アルコール消毒液
- ③ ハンドソープ・固形石けん (家族もしくは自分用を持参・避難所では共用しない)
- ④ 使い捨てのビニール手袋 (ドアノブなど多くの人が触れるものからの接触感染を防ぐため)
- ⑤ 使い捨てのビニールエプロンまたはゴミ袋 (避難所運営に協力する際に使用)
- ⑥ 体温計 (町で用意出来ない場合があるため。使い慣れたものを持参しましょう)
- ⑦ ティッシュ、ウェットティッシュ、ペーパータオル、ポリ袋 (多めに必要)
- ⑧ 携帯トイレ (トイレは我慢してはいけません。避難所のトイレが使えない場合に備えましょう)



わが家の「防災・緊急情報」メモ



非常時・緊急時に連絡してほしい方や、利用してもらいたいわが家の情報です。
災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関・町に情報を提供します。

世帯主氏名			電話		
住所					
避難場所					
家族が離ればなれになった時の避難場所					
家族構成 連絡先	氏名	生年月日	電話(携帯・会社・学校)	住所	メモ
家族の 緊急情報・ 救急メモ	氏名	血液型	持病・アレルギー	持病薬	かかりつけ医療機関
緊急時 連絡先	氏名	間柄	電話	住所	メモ

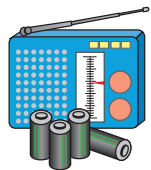
非常時持出品の準備&チェック

災害が発生し、避難する場合はもちろん、避難の必要がない場合でも、電気や水道、ガスなどが使用できない場合もあります。万が一の場合に備えて、家族で話し合い、災害時の非常時持出品や備蓄品を準備しておきましょう。

非常時持出品(例)

準備ができているか、チェック☑しましょう。

携帯ラジオ



- ラジオ
- 電池(多めに用意)

救急医薬品



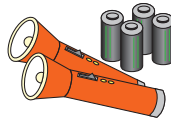
- 処方薬
- 絆創膏
- 傷薬
- 包帯
- 風邪薬
- 胃腸薬
- 鎮痛剤
- 消毒薬

貴重品



- 現金
- 預金通帳
- 印鑑
- 免許証
- 健康保険証
- 懐中電灯
- (出来れば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)

懐中電灯



非常食品

火を通さずに食べられるもの、食器など



- カンパン
- 缶詰・レトルト食品
- ミネラルウォーター
- 粉ミルク・離乳食
- 缶切り・栓抜き
- 紙皿・紙コップ
- 水筒
- 箸・スプーン等

その他



- ヘルメット・軍手
- 布テープ
- ビニール袋
- ラップフィルム
- 防寒具(時季による)
- 使い捨てカイロ等
- タオル
- 紙おむつ
- 雨具
- マスク
- ライター
- 携帯電話充電器
- 防災マップ(本書)

非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低3日)生活できる準備ができているか、チェック☑しましょう。

飲料水



- 飲料水としてミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
- 貯水したポリタンクなど

非常食品



- お米(アルファ米も便利)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

燃料



- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料

その他



- 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品など

避難時の準備

防災情報収集方法

今別町ホームページ (防災)

・ <https://www.town.imabetsu.lg.jp/kurashi/bousai/>



国土交通省「防災情報提供センター」

・ <https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>



気象庁

・ <https://www.jma.go.jp/>



青森地方気象台

・ <https://www.jma-net.go.jp/aomori/index.html>



あおもり防災ポータル

・ <https://bousai.pref.aomori.lg.jp/>



青森県河川砂防情報提供システム

・ <https://www.kasensabo.bousai.pref.aomori.jp/>



青森県土砂災害警戒情報システム

・ <https://www.dosya-keikai.pref.aomori.jp/>



青森県土砂災害警戒区域等マップ

・ <http://www.sabomap.jp/aomori/>



防災無線を
聞き逃したら

0174-31-5119

に電話をかけると
防災無線の内容を
聞くことができます
※放送終了後から24時間
聞くことができます

災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルとは？

地震、噴火などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

伝言の録音 171-1-被災地の方の電話番号

伝言の再生 171-2-被災地の方の電話番号

伝言内容(時間) 1伝言あたり30秒以内

伝言保存期間 災害用伝言ダイヤル(171)運用終了まで

伝言蓄積数 1電話番号当たり20伝言まで

利用可能電話 加入電話、INSネット(ダイヤル式を除く)、
公衆電話、ひかり電話(ダイヤル式を除く)

防災関係機関連絡先

今別町役場 0174-35-2001(代)

産業建設課 0174-35-3006

中央消防署今別分署 0174-35-2119

外ヶ浜警察署今別駐在所 0174-35-2029

青森河川国道事務所 017-734-4521(代)

東青地域県民局地域整備部 017-728-0200

東地方保健所 017-739-5421

東北電力(停電・緊急時) 0120-175-366

今別町防災マップ 令和5年4月

発行 今別町総務企画課
今別町大字今別字今別167
TEL 0174-35-2001
FAX 0174-35-2298

制作・著作 株式会社ゼンリン 青森営業所
青森市長島2丁目25番1号 太陽生命青森ビル5F
TEL 017-777-6261
FAX 017-735-5758

無断で複写、転載することはご遠慮ください。著作権者に無断で本誌の全部、または一部を複製及び転載することは、著作権法により禁止されています。

「この地図は、今別町長の承認を得て、同町発行の1/2,500・1/10,000の地形図を使用し、調整したものである。(承認番号)今総第689号」
「この成果は、青森県が作成した測量成果を青森県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号)平成31年1月9日付け青林第905号」
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 293-1442号」

本文中の地図は、弊社2020年5月発行の今別町外ヶ浜町住宅地図のデータをもとに作成しています。また、住宅地図による現地調査情報、編集独自の細かな情報も加えて制作しています。

作成には細心の注意をはらい、編集作業を行っていますが、データ量は膨大であり、日々変化する現状と地図面が一致しない場合があります。また、目標物は見やすさを優先し、正式名称などを一部割愛して掲載しています。何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。